

# 未来への約束

第 1 期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略

## 評価・総括書

令和 3 年 3 月

与謝野町

## < 目 次 >

### 1. はじめに

- (1) 与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略について . . . . . 1
- (2) 総合計画と総合戦略、総合戦略の構成 . . . . . 1
- (3) 戦略の実施期間 . . . . . 1

### 2. 本書について . . . . . 2

### 3. 基本目標別の成果と課題

- 基本目標 1 織りなす人をつくる . . . . . 3
- 基本目標 2 創造的にものをつくる、しごとをつくる . . . . . 11
- 基本目標 3 まちへの人の流れをつくる . . . . . 17
- 基本目標 4 地域と地域が連携し持続可能なまちをつくる . . . . . 21

### 4. 参考データ

- (1) 人口の動向分析 . . . . . 25
- (2) 産業・雇用に係る人口の動向 . . . . . 33

# 1. はじめに

## (1) 与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略について

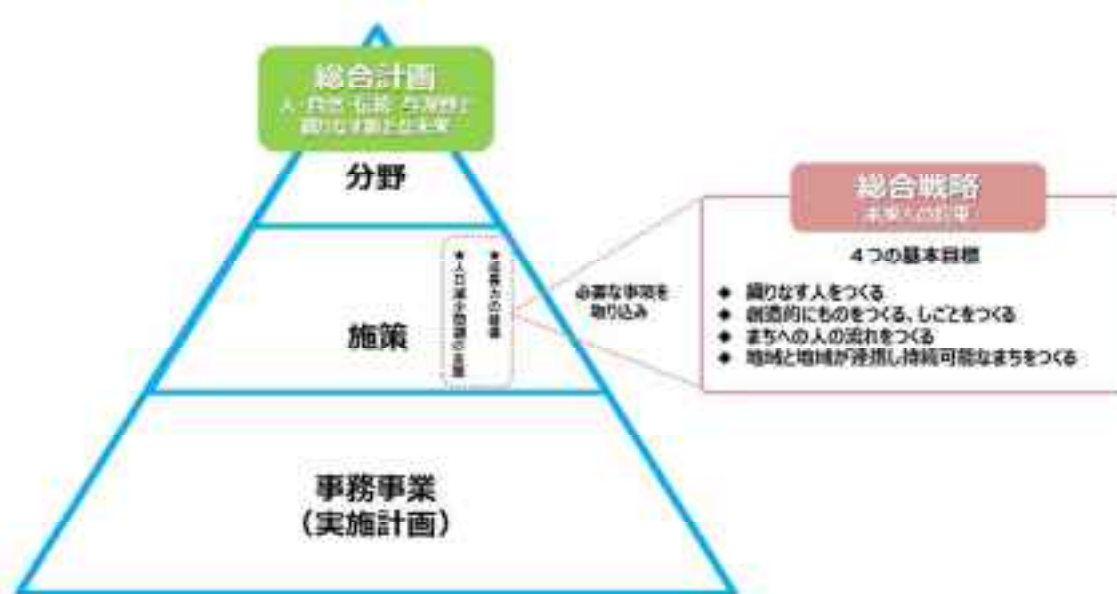
与謝野町では、平成 19 年に「第 1 次与謝野町総合計画」を策定し、「水・緑・空 笑顔かがやく ふれあいのまち」をまちの将来像に掲げ、町政を進めてきました。

一方、国においては、人口急減や超高齢化という直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続可能な社会を創生することを目指し、平成 26 年に地方創生関連法案を策定し、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置しました。

これを受け、本町においても人口減少問題の克服と成長力の確保のために「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、住民等で構成された「与謝野町まち・ひと・しごと創生有識者会議」からの提言を踏まえ、平成 27 年 2 月に「与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略（以下、与謝野町総合戦略という。）」を策定し地方創生の取り組みをスタートしました。現在は、令和 2 年 3 月に策定した第 2 期与謝野町総合戦略にもとづき、関連事業を推進しています。

## (2) 総合計画と総合戦略、総合戦略の構成

第 1 期与謝野町総合戦略は、第 1 次与謝野町総合計画で示すまちづくりの方向性のうち、特に持続可能なまちを目指す上で重要な施策（人口減少の克服と成長力の確保）を取り込んでまとめ、4 つの基本目標を掲げ、3 つの基本的な考え方「(1) 常識にとらわれず、チャレンジする姿勢を大事にします」「(2) 多様な価値観を尊重します」「(3) 民間の力を最大限発揮します」により進めています。



## (3) 第 1 期与謝野町総合戦略の実施期間

平成 27 年度から平成 31（令和元）年度までの 5 年間

## 2. 本書について

本書は、第1期与謝野町総合戦略に掲げた基本目標別に定めた数値目標と重要業績評価指標（KPI）の達成度を明らかにし、客観的に成果の把握を行うものです。

### 与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略 4つの基本目標

#### 4つの基本目標

### 織りなす人をつくる 1

～与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人財育成～

(ア) 地域で育む地域人財の育成

- ①与謝野みらい町立大学校（仮称）
- ②与謝野子育て支援
- ③公民館等の柔軟な活用による場づくり

(イ) 創造人財の育成

- ①新たな知を生み出すリベラルアーツ教育の推進
- ②「ほんまもん技術」
- ③グローバル人材の育成
- ④多様な町民参画機会の提供

(ウ) 妊娠から出産・子育てまでを一体的に支援する環境づくり

- ①妊婦から妊娠・出産支援
- ②保育サービスの充実
- ③心豊かな親と共に地域で子育てを応援する体制づくり

### 創造的にものをつくる、しごとをつくる 2

～与謝野ブランド戦略による一気通貫した産業振興～

(ア) ブランド戦略による  
地域産業のイノベーション

- ①マネジメント体制の構築
- ②ものづくり産業の強化
- ③伝統産業の強化
- ④大規模産業・地域内6次産業化・新規就農
- ⑤プロモーションの強化

(イ) コト起こしへのチャレンジの喚起

- ①創造地域づくりの推進
- ②創業等支援の充実

(ウ) 都市部からの  
企業サテライトオフィス×移住誘致

- ①連携型企業誘致

### まちへの人の流れをつくる 3

～ヒトの魅力でヒトが集う与謝野IU（いじゅう）戦略～

(ア) IU支援の強化と創造的交流の推進

- ①学生寮・空き地の活用
- ②移住から仕事までの一気通貫の支援ネットワークの構築
- ③与謝野・イン・レジデンス（短期型滞在）【仮称】の推進

(イ) 大学・都市等との連携・交流

- ①大学（大学生）との連携事業
- ②「与謝野梁山荘（仮称）」事業
- ③ふるさと奨学会

### 地域と地域が連携し持続可能なまちをつくる 4

～与謝野を磨く。丹後を磨く～

(ア) 地域住民による地域づくりの推進

- ①地域ビジョン（仮称）の推進
- ②まちづくり観光の推進

(イ) 京都府北部広域連携事業の推進、自治体間交流

- ①京都府北部広域連携都市圏の形成
- ②公共交通の維持・強化
- ③創造都市交流事業の推進

### 3. 基本目標別の成果と課題

この項目では、基本目標別に定めた数値目標と重要業績評価指標（KPI）の達成度に加え、実施した主な取り組みと成果をまとめています。

また、各基本目標の末尾には、第1期与謝野町総合戦略の実施期間（平成27年度から平成31（令和元）年度まで）で顕在化した課題について整理し、第2期与謝野町総合戦略（令和2年度から令和6年度まで）へどのように反映させたのかをまとめています。

#### 基本目標1 織りなす人をつくる

～与謝野を愛し、多様性を認め合い、新しいモノやコトを創出する人財育成～

| 数値目標                       | 当初数値<br>(H26) | 数値目標<br>(R1) | R1 実績   | 目標達成度 |
|----------------------------|---------------|--------------|---------|-------|
| 与謝野みらい町民大学<br>(仮称) 学生数 ※累計 | 0 人 ⇒         | 100 人        | 942 人   | 942%  |
| 「創造人財の育成」事業<br>への参加者数 ※累計  | 0 人 ⇒         | 650 人        | 1,245 人 | 192%  |
| 出生数                        | 149 人/年 ⇒     | 150 人/年      | 121 人   | 81%   |

#### (ア) 地域で育む地域人財の育成

##### ① 与謝野みらい町民大学校（仮称）

| 重要業績評価指標（KPI）                                                   | 実績値 |                   |              |               |              | 目標<br>達成度 |
|-----------------------------------------------------------------|-----|-------------------|--------------|---------------|--------------|-----------|
|                                                                 | H27 | H28               | H29          | H30           | R1           |           |
| 与謝野みらい町民大学（仮称）<br>⇒ 開学                                          | —   | 制度設計<br>(トライアル事業) | 開学<br>(本格開始) | 開校<br>(発展・検証) | 開校<br>(自走準備) | 100%      |
| 与謝野みらい大学登録者数<br>⇒ 650 人                                         | —   | —                 | 511 人        | 750 人         | 942 人        | 145%      |
| 実施した主な取り組み                                                      |     |                   |              |               |              | 実施年度      |
| よさのみらい大学の開学と学部・コースの講座開催<br>(リベラルアーツコース、地域づくり学部、与謝野ブランド戦略ビジネス学部) |     |                   |              |               |              | H29—      |

平成29年度に開学した「よさのみらい大学」では、幅広く質の高い教養の形成の場として、地域課題の解決や地域資源の活用等を題材とした地域づくりや地域と人とのネットワーク構築を行う場として、新しい農業モデルの構築をベースに、誰もが簡単にはじめることができる小商いや移動販売などをテーマとする新規ビジネスのスタートアップに関する実践的な学びの場として、老若男女問わず、誰もが気軽に参加し見識を広げる機会を創出することができました。

与謝野町をキャンパスに「新しいモノやコトの発見」「出会いと交流」を通じて、「自分・地域・まち」の未来を描き、主体的に行動する人財の育成を目的とした学び舎として、開学以降、学生登録者数は毎年増加しています。

## ② 与謝野学教育

| 重要業績評価指標（KPI）                                                             | 実績値  |       |       |       |       | 目標<br>達成度 |
|---------------------------------------------------------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-----------|
|                                                                           | H27  | H28   | H29   | H30   | R1    |           |
| 与謝野学講座の実施回数<br>0 回（H26）⇒ 500 回（R1）※累計                                     | 14 回 | 118 回 | 225 回 | 308 回 | 391 回 | 78%       |
| 実施した主な取り組み                                                                |      |       |       |       |       | 実施年度      |
| 未就学児（認定こども園・幼稚園・保育所（園））・小学校児童・中学校生徒・高校生に対して、俳句教室の実施や公民館を中心とした与謝野町を学ぶ講座の実施 |      |       |       |       |       | H27－      |

地域の俳句愛好家が講師となって俳句を学ぶ「俳句教室」や与謝野町環境を考える講座、大江山自然散策、地域の歴史を知る講座など、公民館を中心とした取り組みにより、与謝野町の特徴的な文化の一つである俳句に親しむ機会の創出や、ふるさとを知ってふるさとを想う郷土愛の醸成を図ることができました。

## ③ 公共施設の柔軟な利活用による場づくり

| 重要業績評価指標（KPI）                                           | 実績値   |       |      |       |      | 目標<br>達成度 |
|---------------------------------------------------------|-------|-------|------|-------|------|-----------|
|                                                         | H27   | H28   | H29  | H30   | R1   |           |
| 社会教育施設の利用者率<br>（年間利用者総数÷人口）<br>10.43（H26）⇒ 11.00（R1）    | 11.46 | 10.52 | 9.73 | 11.10 | 8.83 | 80%       |
| 実施した主な取り組み                                              |       |       |      |       |      | 実施年度      |
| 町内外の人が集い交流できる場の創出づくり<br>（よさの大江山登山マラソン大会、与謝野町産業創出交流センター） |       |       |      |       |      | H27－      |

約 1,000 人もの参加者が集うよさの大江山登山マラソン大会の会場でもある大江山運動公園一帯は、全国から集う山岳コースのファンやマラソン愛好家、地域の子どもたちなど、町内外の人が交流できる場として、また、平成 29 年にコワーキングスペースやキッチンスタジオ等を整備してオープンした与謝野町産業創出交流センターは、地域住民や事業者など様々な人材の交流の場として、さまざまな利活用が進みました。

## (イ) 創造人財の育成

### ① 新たな知を生み出すリベラルアーツ教育の推進

| 重要業績評価指標（KPI）                                                       | 実績値  |      |               |     |    | 目標   |
|---------------------------------------------------------------------|------|------|---------------|-----|----|------|
|                                                                     | H27  | H28  | H29           | H29 | R1 | 達成度  |
| 特別教養講座の受講者登録数<br>0 人（H26）⇒ 100 人（R1）※累計                             | 22 人 | 42 人 | よさのみらい大学事業と統合 |     |    |      |
| 実施した主な取り組み                                                          |      |      |               |     |    | 実施年度 |
| よさのみらい大学の開学と学部・コースの講座開催（再掲）<br>（リベラルアーツコース、地域づくり学部、与謝野ブランド戦略ビジネス学部） |      |      |               |     |    | H29－ |

与謝野町の将来を担う人材の育成を目的に実施した幅広い教養を学ぶリベラルアーツ講座は、平成 29 年度に開学した「よさのみらい大学」のリベラルアーツコースへと模様替えを行い、様々な人々にとって新たな知を生み出し、見識を広げる機会となりました。

### ② 「ほんまもん技育」

| 重要業績評価指標（KPI）                        | 実績値 |                                     |     |     |    | 目標   |
|--------------------------------------|-----|-------------------------------------|-----|-----|----|------|
|                                      | H27 | H28                                 | H29 | H30 | R1 | 達成度  |
| 「ほんまもん技育」受講者数<br>0 人（H26）⇒ 500 人（R1） | 0 人 | よさのワーキングステイ・トライアル事業と兼ねる【基本目標 3（ア）③】 |     |     |    |      |
| 実施した主な取り組み                           |     |                                     |     |     |    | 実施年度 |
| よさのワーキングステイ・トライアルの実施（基本目標 3（ア）③と同掲載） |     |                                     |     |     |    | H28－ |

織物業や農業の体験、地域企業等におけるインターンシップ等を通じた与謝野町の「ほんまもん」に触れる取り組みにより、与謝野町への移住や関係人口の創出につながりました。

### ③ グローカル人財の育成

| 重要業績評価指標（KPI）                               | 実績値  |      |      |      |      | 目標   |
|---------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|
|                                             | H27  | H28  | H29  | H30  | R1   | 達成度  |
| アベリスツイス連携プログラム参加者数<br>0 人（H26）⇒ 50 人（R1）※累計 | 12 人 | 27 人 | 38 人 | 44 人 | 48 人 | 96%  |
| 実施した主な取り組み                                  |      |      |      |      |      | 実施年度 |
| アベリスツイス交流事業の実施（高校生交流事業、アベリスツイス大学連携事業）       |      |      |      |      |      | H28－ |

与謝野町合併以前から続いているアベリスツイスとの高校生交流事業とアベリスツイス大学連携事業の他、外国語指導助手や国際交流団体等による外国語の学習、外国文化に触れる取り組みは、未来ある若者の相互理解の促進や国際感覚豊かなグローバル人財の育成につながりました。

また、アベリスツイス派遣高校生が町内小学生と関わる機会をつくり、次世代の人財育成につなげました。

#### ④ 多様な町政参画機会の提供

| 重要業績評価指標（KPI）                         | 実績値   |       |       |       |       | 目標   |
|---------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
|                                       | H27   | H28   | H29   | H30   | R1    | 達成度  |
| 審議会等への女性の登用率<br>22.8%（H26）⇒ 30.0%（R1） | 22.5% | 28.0% | 26.4% | 27.1% | 30.4% | 101% |
| 実施した主な取り組み                            |       |       |       |       |       | 実施年度 |
| 多様な町政参加の機会の推進                         |       |       |       |       |       | H27－ |

人と地域が輝き、老若男女がイキイキと暮らしやすいまちの実現のために実施した男女共同参画啓発講座の開催や啓発チラシ、与謝野町有線テレビでのCM放映などの取り組みは、一人ひとりがまちづくりに取り組むという意識の醸成につながりました。

また、これまでは施策や方針決定過程等の場への参画が少なかった女性を審議会委員等へ登用するなど、まちづくりや町政について多様な参画機会を創出しました。



## 第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略策定に向けた課題の整理

人口減少・少子高齢化に歯止めがかからず、地域への関わりや想いが希薄化しつつある中、持続可能なまちづくりを進める上で、自分事として考え行動する地域人財の育成や地域資源を活かした新たな価値を創出する人財の育成、グローバルな視点で地域経済・社会づくりを担うグローバル人財の育成など個々のマンパワーを増やす「人口減でも人財増」をさらに目指すこと、それぞれの人財が様々な形で効果的につながることが重要です。

また、未来を担う子どもたちが与謝野町に住み続けたい、そして関係を持ち続けたいと思えるふるさと教育の推進が重要です。

## 第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略への反映箇所

### ■基本目標1

与謝野を愛し、多様性を認め合いながら、新しいモノやコトを創出する地域人財をつくる  
～よさの愛あふれる“よさの人(びと)”の育成、活躍、そして、チャレンジを応援～

### ■基本的方向

- まちや地域に対する愛情（よさの愛）にあふれ、地域課題を自分事として考え、行動し、新しいモノやコト（価値）づくりにチャレンジする地域人財（“よさの人(びと)”）、伝統を継承しつつ知恵や技・経験を活かして未来を担う地域人財（“よさの人(びと)”）の育成に取り組めます。
- 子どもから大人まで、自分たちの強みを知り、多様性を認め合い、新しいモノやコト（価値）への共感・理解できる人財を育成します。また、新しいモノやコト（価値）づくりを支える・応援する人財、また、人と人、地域と地域、人と地域をつなぐ人財を育成します。
- みんなが地域で活躍し、新たなチャレンジや活動の輪が広がっていくために、みんなで応援・支援できる環境づくりを進めます。また、多様なアイデアや情報を共有し、新たなチャレンジや地域活動を応援します。

### ■具体的施策

- (ア) 地域で育む地域人財の育成
- (イ) チャレンジできる担い手育成
- (ウ) 共感でつながる人の輪づくり

## (ウ) 妊娠から出産・子育てまでを一体的に支援する環境づくり

### ① 結婚から妊娠・出産支援

| 重要業績評価指標（KPI）                        | 実績値  |      |       |      |      | 目標<br>達成度 |
|--------------------------------------|------|------|-------|------|------|-----------|
|                                      | H27  | H28  | H29   | H30  | R1   |           |
| 婚活事業件数<br>0 件（H26）⇒ 10 件（R1）         | 0 件  | 0 件  | 0 件   | 0 件  | 0 件  | 0 %       |
| 新生児訪問実施率<br>99%（H26）⇒ 100%（R1）       | 100% | 100% | 100%  | 100% | 100% | 100%      |
| プレママとママの歯の相談室参加率<br>0%（H26）⇒ 15%（R1） | —    | —    | 21.1% | 15%  | 事業終了 | —         |
| 実施した主な取り組み                           |      |      |       |      |      | 実施年度      |
| 母子保健事業、乳幼児健診、予防接種事業の実施               |      |      |       |      |      | H27－      |
| 子育て包括支援センター事業の実施                     |      |      |       |      |      | H27－      |
| 子育て支援センター事業の実施                       |      |      |       |      |      | H27－      |

妊娠から出産・子育てまでの一体的な相談・支援体制、安心して子どもを産み育てることができる環境整備により、妊婦や子育て中の親子の安心感につながる機会や場が増えました。

また、人口減少・少子化対策として、婚活イベントを実施する地域団体の活動を支援し、出会いの場の創出につなげました。

### ② 保育サービスの充実

| 重要業績評価指標（KPI）                             | 実績値  |      |      |      |      | 目標<br>達成度 |
|-------------------------------------------|------|------|------|------|------|-----------|
|                                           | H27  | H28  | H29  | H30  | R1   |           |
| 病児保育、病後児保育の実施場所の確保<br>0 箇所（H26）⇒ 2 箇所（R1） | 0 箇所 | 0 箇所 | 0 箇所 | 0 箇所 | 1 箇所 | 50%       |
| 保育ママ、小規模保育の実施箇所数<br>0 箇所（H26）⇒ 1 箇所（R1）   | 0 箇所 | 0 箇所 | 0 箇所 | 0 箇所 | 0 箇所 | 0%        |
| ファミリーサポートセンター設置数<br>0 箇所（H26）⇒ 1 箇所（R1）   | 0 箇所 | 0 箇所 | 0 箇所 | 0 箇所 | 0 箇所 | 0%        |
| 実施した主な取り組み                                |      |      |      |      |      | 実施年度      |
| 宮津与謝病児保育所の開設                              |      |      |      |      |      | R1        |

病児・病後児保育事業として、令和元年 10 月、与謝野町、宮津市、伊根町により宮津与謝病児保育所「りりふる」を開設しました。これにより、病気や病気回復期に集団保育や登校が困難な子どもを一時的に保育、看病する施設として、働く子育て家庭を支援する体制が整いました。

③ 心豊かな親と共に地域で子育てを応援する体制づくり

| 重要業績評価指標（KPI）                      | 実績値 |     |     |     |     | 目標<br>達成度 |
|------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
|                                    | H27 | H28 | H29 | H30 | R30 |           |
| 「与謝野ネウボラ（仮）」の実施箇所：0箇所（H26）⇒1箇所（R1） | 0箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 1箇所 | 100%      |
| 実施した主な取り組み                         |     |     |     |     |     | 実施年度      |
| 子育て包括支援センター事業の実施（再掲）               |     |     |     |     |     | H27－      |
| 子育て支援センター事業の実施（再掲）                 |     |     |     |     |     | H27－      |

町内に設置した3カ所の子育て支援センターでの事業や取り組みは、妊婦や子育て中の親子の安心感や交流につながり、子育ての孤立予防となりました。

また、NPO法人に運営委託する2カ所の子育て支援センターでは、地域活力を活用した工夫あふれる取り組みが展開され、地域での子育ての実践の場となりました。

## 第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略策定に向けた課題の整理

家族構成の多様化、共働き世帯の増加、育児や介護と仕事の両立など、家族が互いに協力しながら家庭生活を送ることが難しくなりつつある昨今において、家族や地域がお互いに協力し助け合える関係、多様なライフスタイルが可能となる社会の実現を目指し、このまちで安心して妊娠・出産・子育てできる環境を整備することが必要です。

## 第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略への反映箇所

### ■基本目標2

たすけあう地域ぐるみの出産・子育てを実現  
～子育てするならこのまちで～

### ■基本的方向

- 多様なライフスタイルや希望に沿った妊娠・出産・子育てが実現できるよう、妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援を推進します。
- 子どもはまちの宝です。みんなの愛情を感じながら健やかに成長できるよう、保護者・家族・地域がお互いに助け合いながら地域ぐるみで子どもを育てる意識を高め、様々な担い手の協働による子育て支援を推進します。

### ■具体的施策

- (ア) 切れ目のない妊娠・出産・子育て支援
- (イ) 保育サービスの充実
- (ウ) 地域における子育て支援
- (エ) 子育て家庭にやさしい環境の整備

## 基本目標２ 創造的にものをつくる、しごとをつくる

### ～与謝野ブランド戦略による一気通貫した産業振興～

| 数値目標       | 当初数値<br>(H26) | 数値目標<br>(R1) | R1 実績 | 目標達成度 |
|------------|---------------|--------------|-------|-------|
| 新規創業件数 ※累計 | 0 人 ⇒         | 30 件         | 10 件  | 33%   |
| 新規就農者数 ※累計 | 32 人 ⇒        | 40 人         | 43 人  | 108%  |

#### (ア) ブランド戦略による地域産業のイノベーション

##### ① マネジメント体制の構築

| 重要業績評価指標 (KPI)                                            | 実績値 |     |     |      |     | 目標<br>達成度 |
|-----------------------------------------------------------|-----|-----|-----|------|-----|-----------|
|                                                           | H27 | H28 | H29 | H30  | R1  |           |
| 与謝野ブランド戦略<br>プロジェクトの実施<br>0 件 (H26) ⇒ 8 件 (R1)            | 3 件 | 7 件 | 8 件 | 10 件 | 9 件 | 113%      |
| 実施した主な取り組み                                                |     |     |     |      |     | 実施年度      |
| 与謝野ブランド戦略推進プロジェクトチーム、与謝野ブランド戦略事業審査会、与謝野ブランド戦略担当課長会議の設置、開催 |     |     |     |      |     | H27-      |
| クリエイティブディレクターの招聘                                          |     |     |     |      |     | H27-28    |

町、商工会、クリエイティブディレクターによるマネジメント体制（与謝野ブランド戦略推進プロジェクトチーム、与謝野ブランド戦略事業審査会、与謝野ブランド戦略担当課長会議）を確立し、「みえるまち」をブランドコンセプトに「与謝野ブランド戦略事業」を推進し、商工業振興、農業振興、観光振興につながる施策・プロジェクトの企画・実践により、新しい視点での産業振興策を展開しました。

##### ② ものづくり産業の強化

| 重要業績評価指標 (KPI)                                     | 実績値 |     |     |     |     | 目標<br>達成度 |
|----------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
|                                                    | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  |           |
| 地域特性を活かした<br>新たな商品開発件数<br>0 件 (H26) ⇒ 5 件 (R1) ※累計 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0%        |
| 実施した主な取り組み                                         |     |     |     |     |     | 実施年度      |
| シルクプロジェクト（桑栽培、養蚕）の実施                               |     |     |     |     |     | H28-      |

桑栽培から養蚕を行い、シルクによる新産業の創出を目指す「シルクプロジェクト」では、平成 29 年度に桑畑を整備し、平成 30 年度から桑畑と養蚕施設を活用し試験養蚕を実施し、町内事業者へ繭を販売することができました。購入事業者からは高品質の繭との評価を得ることができました。

### ③ 自然循環農業の強化

| 重要業績評価指標（KPI）                          | 実績値     |         |         |         |         | 目標<br>達成度 |
|----------------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
|                                        | H27     | H28     | H29     | H30     | R1      |           |
| 京の豆っこの生産量<br>274 t/年（H26）⇒ 350 t/年（R1） | 314 t/年 | 280 t/年 | 265 t/年 | 287 t/年 | 281 t/年 | 80%       |
| 京の豆っこ米の生産面積<br>129ha（H26）⇒ 145ha（R1）   | 118.8ha | 125ha   | 125ha   | 138ha   | 138.8ha | 96%       |
| 実施した主な取り組み                             |         |         |         |         |         | 実施年度      |
| 自然循環農業推進事業、まめっこプロジェクトの実施               |         |         |         |         |         | H27-      |
| 有機物供給施設増強整備工事                          |         |         |         |         |         | H30       |
| 農業ポータルサイトの開設、活用                        |         |         |         |         |         | H30-      |

町独自の有機質肥料「京の豆っこ」の増産と品質向上を目的に有機物供給施設増強整備工事を行い、肥料の基本形状を粒状改良するなど新しい肥料生産を可能にするとともに、新しい堆肥の開発等も行い、「京の豆っこ」を基軸にした自然循環農業を推進し、京の豆っこ肥料生産量、京の豆っこ米栽培面積の増加、農産物の高付加価値化につなげました。

また、特色ある与謝野町の農業を紹介するポータルサイトを開設し、地域ブランド力の向上と新規就農につなげました。

### ④ 大規模農業・地域内 6 次産業化・新規就農

| 重要業績評価指標（KPI）                                    | 実績値   |       |       |       |         | 目標<br>達成度 |
|--------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|---------|-----------|
|                                                  | H27   | H28   | H29   | H30   | R1      |           |
| 担い手の農地集積面積<br>353ha（H26）⇒ 400ha（R1）              | 372ha | 372ha | 388ha | 390ha | 397.3ha | 99%       |
| ICT 農業を活用した農業者数<br>試験利用者 5 人（H26）⇒ 本利用者 30 人（R1） | 15 人  | 15 人  | 31 人  | 31 人  | 25 人    | 83%       |
| 実施した主な取り組み                                       |       |       |       |       |         | 実施年度      |
| SOFIX（土壌肥沃度指標）による土壌診断                            |       |       |       |       |         | H27-      |
| ICT 農業の推進（e-kakashi 導入、LPWA（低電力広エリアネットワーク）の整備）   |       |       |       |       |         | H27-      |
| クラフトビール醸造事業（ホップ栽培）の実施                            |       |       |       |       |         | H27-      |
| 農業ポータルサイトの開設、活用（再掲）                              |       |       |       |       |         | H30-      |

SOFIX（土壌肥沃度指標）による土壌診断の支援を行い、減農薬・減化学肥料による農産物の高付加価値化につなげました。

ICT 農業の推進により、事業継承、新規就農者の確保・育成、新規作物の栽培促進など、与謝野町の新しい農業モデルが確立しました。とりわけホップの試験栽培は、西日本におけるホップ栽培の可能性を実証するものとなり、加えて e-kakashi の活用により、農業者によるホップ栽培の参入を促すものとなりました。試験栽培の最終年度となった平成 29 年度においては、水稻・施設園芸に次ぐ新規作物としての展望を見出し、平成 29 年以降は与謝野町産ホップを使用したクラフトビールの製造が実現し、6 次産業化・農商工連携への展望が開けました。

こういった取組事例などを農業ポータルサイトで紹介し、地産地消・地産他消、付加価値化、新規就農者の確保につなげました。

#### ⑤ プロモーションの強化

| 重要業績評価指標（KPI）                                                     | 実績値 |         |         |         |         | 目標<br>達成度 |
|-------------------------------------------------------------------|-----|---------|---------|---------|---------|-----------|
|                                                                   | H27 | H28     | H29     | H30     | R1      |           |
| 町関連 SNS いいね！<br>0 件（H26）⇒ 5,000 件（R1）                             | 未把握 | 1,459 件 | 4,720 件 | 4,941 件 | 5,375 件 | 108%      |
| 実施した主な取り組み                                                        |     |         |         |         |         | 実施年度      |
| 与謝野町ホームページ、町公式 Facebook、与謝野ブランドサイト、「織りなす人（yosano-weaver）」等による情報発信 |     |         |         |         |         | H27-      |
| かべ新聞「うちのまち」の発行                                                    |     |         |         |         |         | H28-      |
| 農業ポータルサイトの開設、活用（再掲）                                               |     |         |         |         |         | H30-      |

産業の担い手を通して与謝野町を発信する「織りなす人-YOSANO WEAVER-」の開設、地域の価値の再発見を行う「うちのまち」の発行、これらを総合的に伝える「与謝野ブランドサイト」の開設を行い、与謝野ブランド戦略での取り組みをはじめとした与謝野町のヒト、モノ、コトを発信し、町内外へのプロモーション強化を図り、与謝野町の認知拡大を図りました。

## (イ) コト起こしへのチャレンジ喚起

### ① 創造地域づくりの推進

| 重要業績評価指標（KPI）                         | 実績値 |     |     |     |     | 目標<br>達成度 |
|---------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
|                                       | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |           |
| エリア内における創業件数<br>0 件（H26）⇒ 10 件（R1）※累計 | 0 件 | 1 件 | 4 件 | 7 件 | 7 件 | 60%       |
| 実施した主な取り組み                            |     |     |     |     |     | 実施年度      |
| 阿蘇ベイエリア活性化マスタープランの策定                  |     |     |     |     |     | H27       |
| 創業等支援事業                               |     |     |     |     |     | H27-      |
| ひまわりイベントの滝・金屋エリアでの実施                  |     |     |     |     |     | H27-H28   |
| 海の京都事業の実施（ちりめん街道コンセプトづくり他）            |     |     |     |     |     | H27-      |
| 「観光地域づくり」の実現に向けた取り組みの実施               |     |     |     |     |     | H27-      |
| 移動販売車等整備支援                            |     |     |     |     |     | H30       |

与謝野ブランド戦略の拠点エリアそれぞれの特性を活かした取り組みが生まれ、地域や与謝野町を訪れる人々との交流の場や機会が増え、賑わいが生まれています。

また、整備支援を行った移動販売車による阿蘇ベイエリアをはじめとした町内外さまざまな場所での販売活動は、地域食材を使った加工品開発や町内生産者等との連携による商品開発・研究を促進し、農商工連携・事業者間連携につながりました。

### ② 創業等支援の充実

| 重要業績評価指標（KPI）                      | 実績値  |      |      |      |      | 目標<br>達成度 |
|------------------------------------|------|------|------|------|------|-----------|
|                                    | H27  | H28  | H29  | H30  | R1   |           |
| 創業相談受付件数：<br>0 件（H26）⇒ 50 件（R1）※累計 | 23 件 | 48 件 | 63 件 | 73 件 | 78 件 | 156%      |
| 実施した主な取り組み                         |      |      |      |      |      | 実施年度      |
| 産業振興支援事業                           |      |      |      |      |      | H27-      |
| 織物生産基盤支援事業                         |      |      |      |      |      | H27-      |

与謝野町と与謝野町商工会の連携した相談体制強化による側面的支援や創業セミナー開催等による起業意欲の喚起、売れる商品づくりプロジェクトなど、創業、事業拡大、新商品開発、販路開拓、農商工連携等への展開、新商品開発につながりました。



## (ウ) 都市部からの企業サテライトオフィス×移住誘致

### ① 逆指名型企业誘致

| 重要業績評価指標（KPI）                                | 実績値 |     |     |     |    | 目標<br>達成度 |
|----------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|----|-----------|
|                                              | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |           |
| 空き家等を活用した<br>サテライトオフィス誘致数<br>0件（H26）⇒ 6件（R1） | 0件  | 0件  | 0件  | 0件  | 0件 | 0%        |
| 実施した主な取り組み                                   |     |     |     |     |    | 実施年度      |
| 与謝野町産業創出交流センターの竣工                            |     |     |     |     |    | H28       |
| 与謝野町産業創出交流センターの運営                            |     |     |     |     |    | H29-      |
| アクティブワーキングの実施                                |     |     |     |     |    | H30       |

岩滝母と子どものセンターを改修し、コワーキングスペースやキッチンスタジオ等を新たに備えた「与謝野町産業創出交流センター」としてリニューアルを行い、町内外の人々や団体の多様な活動を促すとともに、交流が生まれる場を創出しました。まちが抱える地域課題を解決する人材の発掘・育成プロジェクトや、食やものづくりを通じた交流、開発・研究が行われるなど、新たな取り組みが広がりました。

## 第２期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略策定に向けた課題の整理

与謝野町の産業施策の展開や地域資源の魅力を活用した地域ブランドの確立・推進をしていくためには、産業間や関係機関等との情報共有・連携が重要です。併せて、しごと創出・雇用創出については、プロモーションの強化、事業承継、後継者育成、技術伝承などさまざまなステージの課題を解決するための一体的なマネジメント体制・情報発信体制の構築が必要です。

また、与謝野町中小企業振興基本条例を核とした地域企業の発展や産業人財の確保・育成、多様な産業間・業種間連携による新しい価値の創造など、与謝野町ならではの持続可能で元気な産業施策の展開が求められています。

## 第２期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略への反映箇所

### ■基本目標３

持続可能な与謝野の産業をつくる

～与謝野町中小企業振興基本条例を核とした地域企業の育成～

### ■基本的方向

- 与謝野町中小企業振興基本条例を推進します。
- 地域企業の持続的な発展を支援します。
- 産業人財の確保・育成を支援します。
- 地域循環型経済の確立を推進します。
- 地域資源や地域企業の情報発信を行います。

### ■具体的施策

- (ア) 地域企業の継続的な生産・経営基盤の確立
- (イ) 産業人財の確保・育成
- (ウ) 地域経済循環の確立
- (エ) 地域資源の情報発信と関係人口の拡大
- (オ) 持続的経済を目指す調査研究

### 基本目標3 まちへの人の流れをつくる

#### ～ヒトの魅力でヒトが集う与謝野 IJU（いじゅう）戦略～

| 数値目標      | 当初数値<br>(H26) | 数値目標<br>(R1)                     | R1 実績    | 目標達成度 |
|-----------|---------------|----------------------------------|----------|-------|
| 定住人口減少の抑制 | 22,260 人      | ⇒ 20,894 人<br>(社人研推計では 20,552 人) | 21,219 人 | 102%  |

#### (ア) IJU 支援の強化と創造的交流の推進

##### ① 空き家・空き地の把握

| 重要業績評価指標 (KPI)                         | 実績値 |      |      |      |       | 目標<br>達成度 |
|----------------------------------------|-----|------|------|------|-------|-----------|
|                                        | H27 | H28  | H29  | H30  | R1    |           |
| 空き家活用に関する相談件数<br>0 件 (H26) ⇒ 40 件 (R1) | 0 件 | 27 件 | 31 件 | 55 件 | 101 件 | 253%      |
| 実施した主な取り組み                             |     |      |      |      |       | 実施年度      |
| 与謝野町空き家バンク制度の設置                        |     |      |      |      |       | H27       |
| 与謝野町空き家活用移住促進事業                        |     |      |      |      |       | H28-      |
| 与謝野 IJU 戦略プロジェクトの実施                    |     |      |      |      |       | H28-      |

空き家を地域資源として活用するために空き家バンクを設置し、移住・定住の促進につなげました。  
また、空き家活用講座の開催により、地域住民による空き家活用の機運醸成を図りました。

##### ② 移住から仕事までの一気通貫の支援ネットワークの構築

| 重要業績評価指標 (KPI)                          | 実績値 |     |     |     |      | 目標<br>達成度 |
|-----------------------------------------|-----|-----|-----|-----|------|-----------|
|                                         | H27 | H28 | H29 | H30 | R1   |           |
| 移住に資する相談件数<br>0 件 (H26) ⇒ 40 件 (R1) ※累計 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 46 件 | 115%      |
| 実施した主な取り組み                              |     |     |     |     |      | 実施年度      |
| 与謝野 IJU 戦略プロジェクトの実施（再掲）                 |     |     |     |     |      | H28-      |
| よさのむすび人（移住アドバイザー）の認定                    |     |     |     |     |      | H28       |
| よさの移住コンシェルジュの設置                         |     |     |     |     |      | H28       |

移住・定住支援事業「与謝野 IJU 戦略プロジェクト」として、移住相談・交流窓口の設置や短期滞在型移住プログラムの実施、空き家の活用に向けた実践講座の開催など、与謝野町へ移住者を呼び込むための「移住から仕事までの一気通貫した取り組み」を実施しました。

### ③ 与謝野・イン・レジデンス（短期型滞在）【仮称】の推進

| 重要業績評価指標（KPI）                                    | 実績値 |     |     |     |     | 目標<br>達成度 |
|--------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
|                                                  | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  |           |
| お試し居住・お試し仕事<br>プロジェクト利用者数<br>0人（H26）⇒ 20人（R1）※累計 | 0人  | 5人  | 9人  | 12人 | 12人 | 60%       |
| 実施した主な取り組み                                       |     |     |     |     |     | 実施年度      |
| よさのワーキングステイ・トライアルの実施                             |     |     |     |     |     | H28-      |
| 与謝野町移住定住対策事業                                     |     |     |     |     |     | H30-      |

移住を検討・決定する上での重要な要素である「仕事」と「暮らし」を与謝野町で体験できる取り組みとしてワーキングステイ・トライアルを実施し、移住のみならず関係人口の創出につなげました。

また、地域課題の解決を目指し、移住定住促進や交流人口・関係人口の創出と拡大に向け取り組む地域に対し支援を行い、地域における移住者受入体制の構築を進めました。

## （イ）大学、都市等との連携・交流

### ① 大学（大学生）との連携事業

| 重要業績評価指標（KPI）                                | 実績値 |      |      |      |      | 目標<br>達成度 |
|----------------------------------------------|-----|------|------|------|------|-----------|
|                                              | H27 | H28  | H29  | H30  | R1   |           |
| 大学連携事業による<br>受け入れ学生数<br>0人（H26）⇒ 100人（R1）※累計 | 69人 | 139人 | 202人 | 212人 | 263人 | 263%      |
| 実施した主な取り組み                                   |     |      |      |      |      | 実施年度      |
| 京都 X キャンプ与謝野の地域受け入れ                          |     |      |      |      |      | H27-      |
| IVUSA（NPO 法人国際ボランティア学生協会）との阿蘇海環境づくり活動        |     |      |      |      |      | H27-      |
| 地域創生 TECH PROGRAM による地域課題解決提案                |     |      |      |      |      | H27-      |

平成 24 年度から取り組まれてきた「京都 X キャンプ与謝野」では、京都府内外の大学生と地域住民との交流による農山村地域の活性化や地域づくりが進みました。徐々に活動エリアを広げ、新たな住民団体等とのつながりや関わりが生れてきたほか、京都 X キャンプ与謝野の OB・OG は、与謝野町を「第二のふるさと」として卒業後も再訪し、地域との関わりを続けています。

また、地元住民や関係団体、地元企業、大学生等が協働して取り組む阿蘇海環境づくり活動や地域課題を考え、解決策等を提案するなど、府内外の多数の大学生との関わりも増えており、地域への関心の高まりや将来的な関わりが期待されます。

## ②「与謝野梁山泊（仮称）」事業

| 重要業績評価指標（KPI）                                 | 実績値                          |     |     |     |    | 目標   |
|-----------------------------------------------|------------------------------|-----|-----|-----|----|------|
|                                               | H27                          | H28 | H29 | H30 | R1 | 達成度  |
| ゼミハウス<br>「与謝野梁山泊（仮称）」利用者数<br>0人（H26）⇒100人（R1） | 大学（大学生）との連携事業と兼ねる【基本目標3（イ）①】 |     |     |     |    |      |
| 実施した主な取り組み                                    |                              |     |     |     |    | 実施年度 |
| 京都Xキャンプ与謝野の地域受け入れ（再掲）                         |                              |     |     |     |    | H27- |

京都Xキャンプ与謝野では、民間企業や地域住民の協力により空き店舗や空き家等を活動拠点とし、町内において様々な活動を展開しました。

## ③ ふるさと奨学金

| 重要業績評価指標（KPI）                 | 実績値 |     |     |     |    | 目標<br>達成度 |
|-------------------------------|-----|-----|-----|-----|----|-----------|
|                               | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 |           |
| ふるさと奨学金貸与者<br>0人（H26）⇒10人（R1） | 0人  | 0人  | 0人  | 0人  | 0人 | 0%        |
| 実施した主な取り組み                    |     |     |     |     |    | 実施年度      |
| 奨学金貸与制度、地域医療確保奨学金制度、看護師等修学資金  |     |     |     |     |    | H27-      |

与謝野町定住を促進するふるさと奨学金制度の創設にむけた検討・協議を進めるとともに、高等教育を修学する学生等に対する資金支援を行い、地域医療現場を担う人財育成と確保を図りました。

## 第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略策定に向けた課題の整理

地域の魅力が日々の暮らしの中に溶け込んでいる与謝野町では、自然景観や産業、人などの地域資源を活かした体験プログラムによる人の流れ、与謝野町観光協会（海の京都 DMO 与謝野地域本部）を中心とした地域住民、住民団体との連携によるさらなる地域の魅力向上が必要です。さらに、移住希望者が与謝野町を移住先候補の一つとして選択する認知度の向上を図り、まちの特色や環境、人の魅力で惹きつけられる情報発信を強化するとともに、各地区や各種団体、企業等と緊密な連携を図り、与謝野町全体で移住者を積極的に受け入れるという気運を醸成する必要があります。

また、若手人財が途切れることなく町内へ帰ってくる、あるいは訪れる仕組みづくりを構築し、大学生（大学含む）や若者の持つ知性・感性・創造性などをまちづくりのエッセンスにした地域の活性化を促し、関係人口、移住定住の他、与謝野町の産業における人財確保の観点からも、民間の吸引力による展開を図ることが重要です。

## 第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略への反映箇所

### ■基本目標4

まちへの人の流れをつくる

～人と仕事の魅力で、交わる、関わる、集うまち～

### ■基本的方向

- まちや地域の魅力を掘り起こし、町内外へまちの魅力情報を発信し、与謝野町のファンづくりを推進します。
- 与謝野町を訪れる人々が山・川・里・海をフィールドに与謝野の歴史・文化や暮らしを体験し、地域との交流を促進します。また、京都府北部5市2町による海の京都観光圏の取り組みを活かしつつ、本町の強みを活かした独自の政策・施策・事業の展開と民間が自走するまちづくり観光を推進し、多様な人財を呼び込み交流人口・関係人口づくりを推進します。
- このまちで暮らしたいと思う人が安心して移り住める環境を整備し、まちぐるみで移住を支援します。また、住み続けたいと思えるフォローアップ支援により、地域での豊かな暮らしの実現を目指します。

### ■具体的施策

- (ア) まちなかの魅力発見、掘起し、そして共感
- (イ) よさの暮らしをイメージする体験型交流の推進
- (ウ) 移住定住支援の強化

## 基本目標 4 地域と地域が連携し持続可能なまちをつくる

### ～与謝野を磨く、丹後を磨く～

| 数値目標                            | 当初数値<br>(H26) | 数値目標<br>(R1) | R1 実績 | 目標達成度 |
|---------------------------------|---------------|--------------|-------|-------|
| 地域ビジョン（仮称）に基づく<br>プロジェクト実施数 ※累計 | 0 件 ⇒         | 16 件         | 1 件   | 6%    |
| 5 市 2 町連携事業件数 ※累計               | 2 件 ⇒         | 4 件          | 15 件  | 375%  |

## (ア) 地域住民による地域づくりの推進

### ① 地域ビジョン（仮称）の推進

| 重要業績評価指標（KPI）                             | 実績値  |      |      |      |      | 目標<br>達成度 |
|-------------------------------------------|------|------|------|------|------|-----------|
|                                           | H27  | H28  | H29  | H30  | R1   |           |
| 地域ビジョン（仮称）策定地区数<br>0 地区（H26）⇒ 1 地区（R1）※累計 | 1 地区 | 1 地区 | 1 地区 | 1 地区 | 1 地区 | 100%      |
| 実施した主な取り組み                                |      |      |      |      |      | 実施年度      |
| 自治会運営交付金等による自治会活動支援                       |      |      |      |      |      | H27-      |
| 自治区・自治会が行うコミュニティ活動に対する支援として、自治振興補助金を交付    |      |      |      |      |      | H27-      |
| 自治区自らが主体的に将来像について考え、自治区のまちづくり計画を策定するための支援 |      |      |      |      |      | H27-28    |
| 公民館活動推進事業の実施                              |      |      |      |      |      | H27-      |

各地区独自の自治会運営や活動の展開に対する支援を行うとともに、岩屋地区においては、地域コーディネーターを派遣し、地区自らが主体的に将来像について検討し、自分達でまちづくり計画を作成し、地区の特性に合わせた地域づくりが進みました。

区長連絡協議会や地域区長会においても地域運営組織の形成に向けた研修や勉強会等を開催し、住民主体の地域づくりに向け動き始めました。

## ② まちづくり観光の推進

| 重要業績評価指標（KPI）                             | 実績値    |        |        |        |        | 目標<br>達成度 |
|-------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|
|                                           | H27    | H28    | H29    | H30    | R1     |           |
| 観光入込客数<br>677 千人/年（H26）<br>⇒ 720 千人/年（R1） | 707 千人 | 678 千人 | 459 千人 | 430 千人 | 403 千人 | 56%       |
| 観光消費額<br>6.1 億円/年（H26）<br>⇒ 7.4 億円/年（R1）  | 6.7 億円 | 6.4 億円 | 5.8 億円 | 5.7 億円 | 5.6 億円 | 53%       |
| 実施した主な取り組み                                |        |        |        |        |        | 実施年度      |
| 地域資源を生かした新たな体験プログラムの造成                    |        |        |        |        |        | H27-      |

与謝野町観光協会（海の京都DMO与謝野地域本部）が中心となり、地域住民や関係団体等と連携し、本町の自然景観や産業等の地域資源をいかした体験プログラムが造成され、町内での滞在時間が増加し、一人当たりの観光消費額が上昇しました。

## （イ）京都府北部広域連携事業の推進、自治体間交流

### ① 京都府北部地域連携都市圏の形成

| 重要業績評価指標（KPI）                              | 実績値 |     |      |      |      | 目標<br>達成度 |
|--------------------------------------------|-----|-----|------|------|------|-----------|
|                                            | H27 | H28 | H29  | H30  | R1   |           |
| 5 市 2 町連携事業件数<br>2 件（H26）⇒ 4 件（R1）※累計      | 2 件 | 9 件 | 12 件 | 14 件 | 15 件 | 375%      |
| 実施した主な取り組み                                 |     |     |      |      |      | 実施年度      |
| 京都府北部地域連携都市圏形成推進宣言（京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会の設置） |     |     |      |      |      | H27       |
| 京都府北部地域（5 市 2 町）広域連携事業の実施                  |     |     |      |      |      | H27-      |
| 京都府北部地域連携都市圏形成ビジョンの策定                      |     |     |      |      |      | H29       |

京都府北部 5 市 2 町では京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置しました。一定の人口規模の圏域となることにより、活力ある経済環境・魅力ある生活環境圏が形成されるとともに、各市町単独では課題解決が困難な地域課題等についてさまざまな事業展開が可能となりました。

また、京都府北部地域連携都市圏ビジョンが策定され、民間や議会とも連携した広域連携の取り組みを推進しています。



## ② 公共交通の維持・強化

| 重要業績評価指標（KPI）                                                        | 実績値    |        |        |        |        | 目標<br>達成度 |
|----------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|
|                                                                      | H27    | H28    | H29    | H30    | R1     |           |
| 京都丹後鉄道利用者数<br>186 万人/年（H26）<br>⇒ 190 万人/年（R1）                        | 187 万人 | 188 万人 | 178 万人 | 153 万人 | 158 万人 | 83%       |
| 200 円バス利用者数（対 H23 比）<br>1.5 倍（25 万人/年）（H25）<br>⇒ 2.0 倍（33 万人/年）（H31） | 27 万人  | 28 万人  | 32 万人  | 33 万人  | 32 万人  | 100%      |
| 実施した主な取り組み                                                           |        |        |        |        |        | 実施年度      |
| 京都タンゴ鉄道利用促進事業（高齢者片道 200 円レール事業）                                      |        |        |        |        |        | H27-      |
| 丹海バス上限 200 円バス運行                                                     |        |        |        |        |        | H27-      |
| コミュニティバスひまわり運行                                                       |        |        |        |        |        | H27-      |

高齢者片道 200 円レールや上限 200 円バス、コミュニティバスの運行は、高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段としての役割を果たしています。

## ③ 創造都市交流事業の推進

| 重要業績評価指標（KPI）                  | 実績値 |     |     |     |     | 目標<br>達成度 |
|--------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----------|
|                                | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  |           |
| 創造都市交流の件数<br>0 件（H26）⇒ 3 件（R1） | －   | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0%        |
| 実施した主な取り組み                     |     |     |     |     |     | 実施年度      |
| 創造都市ネットワーク日本（CCNJ）参加           |     |     |     |     |     | H28-      |

創造都市ネットワーク会議への出席により、文化庁や全国の自治体等と文化芸術等に関する取り組みについて情報交換を行いました。

## 第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略策定に向けた課題の整理

ライフスタイルの多様化、住民の価値観の多様化により、同じ地域に住んでいても、地域の連帯感や共同意識の希薄化、加えて人口減少・少子高齢化の進行による自治区の運営・存続問題が課題としてクローズアップされてきました。各自治区の運営やコミュニティ活動等の支援を行いながら、持続可能な地域自治運営について、その必要性や危機感を共有し、気運の醸成を図ることが重要です。

また、海の京都圏内における様々な地域課題の解決にむけては、5市2町水平連携のもと、人口減少対策、移住定住施策、産業・雇用施策、観光施策、公共交通施策、安心安全な生活基盤の整備など、安心して暮せるまちづくりを推進するとともに、海の京都圏域を超えた地域間・自治体間連携、交流を多角的に促進し、地域資源や地域素材を活かしたまちづくりの検討も必要です。

## 第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略への反映箇所

### ■基本目標5

地域と地域が連携し、持続可能なまちをつくる

～新しい時代の流れを力に、つながり助け合って、安心・元気な暮らしを実現～

### ■基本的方向

- みんなが担い手・支え合う社会へ。それぞれの地域の住民が主体となって地域を磨き、住民が輝く地域をつくります。「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識、「そして、守る」という覚悟を持ち、誰もが頼れる地域（近所）、助け合える環境をつくり、暮らしやすい地域づくりを推進します。
- 地域や世代、立場を超えて地域課題を考え、解決するために交わりつながる地域づくりを推進します。また、自治体連携、広域連携の視点、多様な民間の視点も重視した取り組みにより、与謝野町だけではなく、丹後地域の創生に取り組みます。
- 時代の変化に対応し、Society5.0の実現に向けたAI、IoTなどの未来技術の積極的な活用を図ります。
- SDGsの理念にも沿った持続可能で環境にやさしい社会づくりなど、新しい時代を見据えた未来がみえるまちの取組を推進します。

### ■具体的施策

- (ア) 地域住民による地域づくりの推進
- (イ) 誰もが暮らしやすい生活環境の整備
- (ウ) 京都府北部広域連携事業の推進、自治体間交流
- (エ) 豊かな自然環境の維持と活用

## 4. 参考データ

### (1) 人口の動向分析

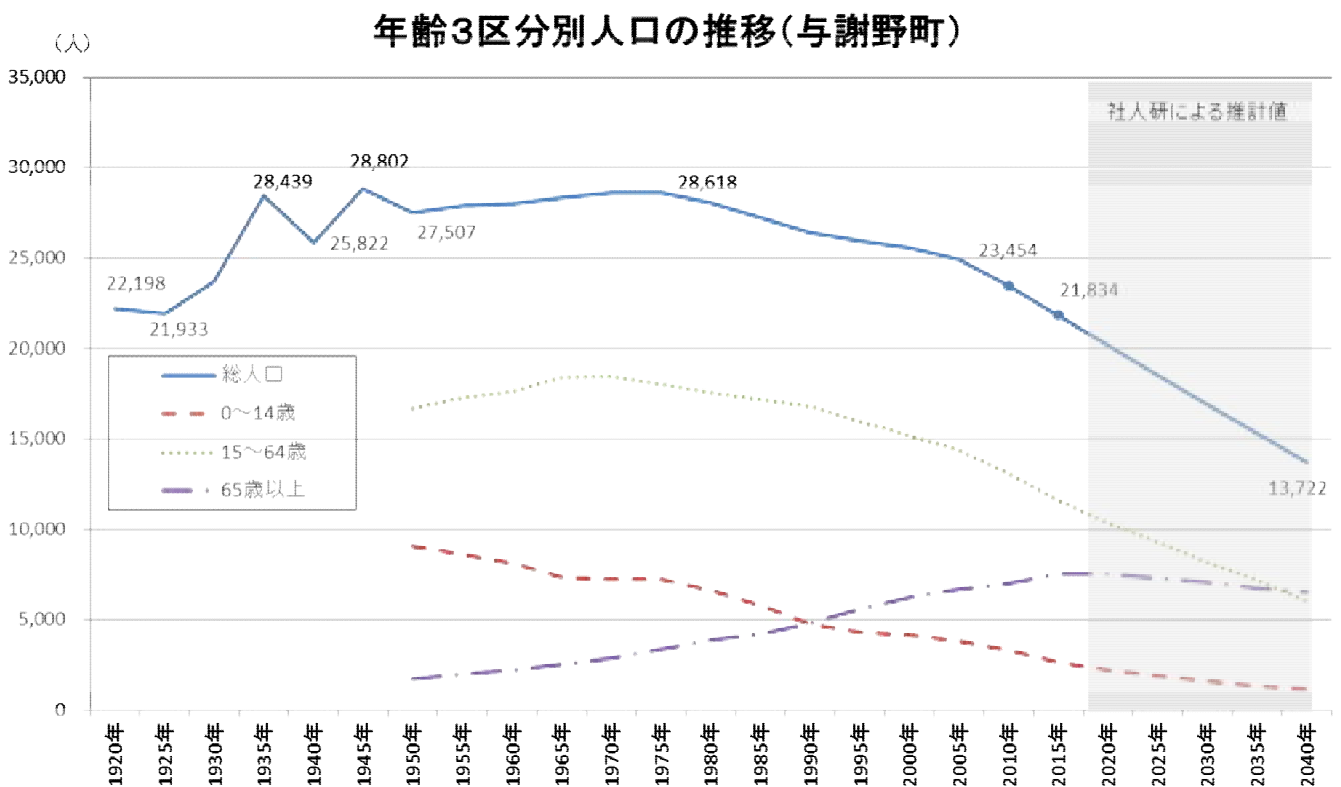
#### ① 総人口及び年齢3区分別人口の推移と将来推計

国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所（平成 30 年 3 月推計）によると、平成 18 年の合併前から本町の人口は減少が続いており、今後も減少が続き令和 7（2025）年には 2 万人を、令和 22（2040）年には 1 万 5 千人を切る推計となっています。

生産年齢人口は、昭和 45（1970）年まで増加傾向にありましたが、その後減少に転じ、現在まで減少が続いています。

年少人口は、昭和 40（1965）年～昭和 50（1975）年の間やや低下傾向が緩やかになりましたが、長期的には減少傾向が続いており、平成 10（1990）年以降は高齢者人口を下回りました。

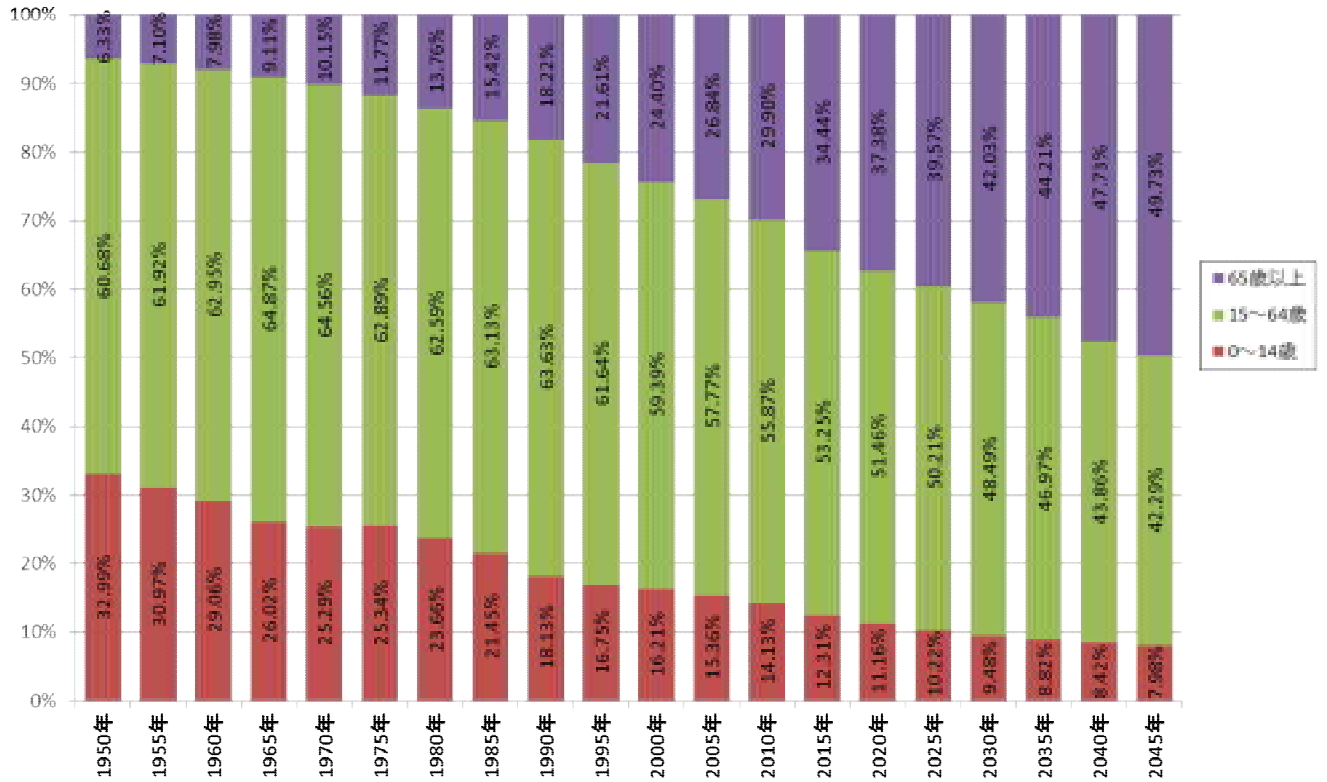
一方、高齢者人口は、生産年齢人口が順次老年期に入ること、また、平均余命が延びたことから令和 2（2020）年まで増加し、その後は減少に転じると推計されています。



資料: 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所(平成30年3月推計)

年少・生産年齢・高齢人口の全てにおいて減少となりますが、高齢人口の割合は平成 25（2015）年と令和 27（2045）年と比較すると 15.29 ポイント増加となり高齢化が進みます。一方、生産年齢人口の割合は 10.96 ポイントと大幅に減少する見込みです。さらに年少人口の割合も 4.33 ポイント減少する見込みです。

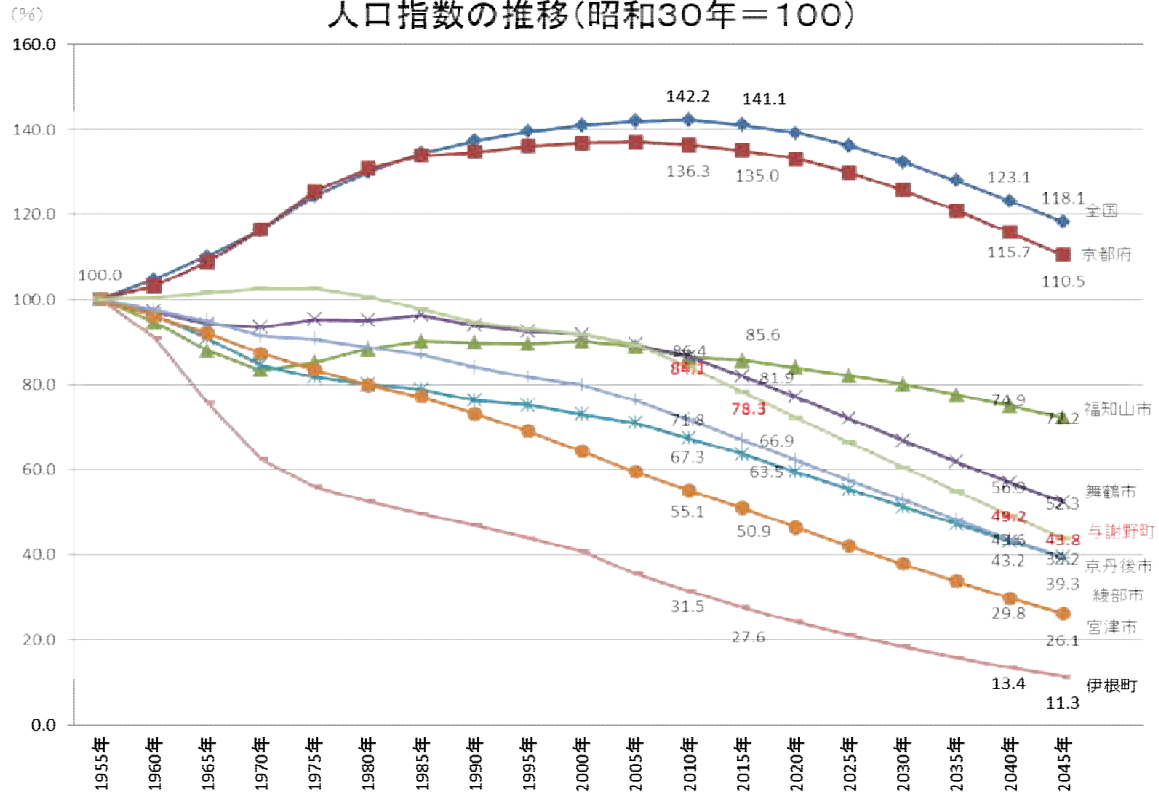
## 年齢3区分別人口割合の推移(与謝野町)



資料: 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所(平成30年推計)

## ② 人口指数の推移

### 人口指数の推移(昭和30年=100)



資料: 国立社会保障・人口問題研究所(平成30年3月推計)

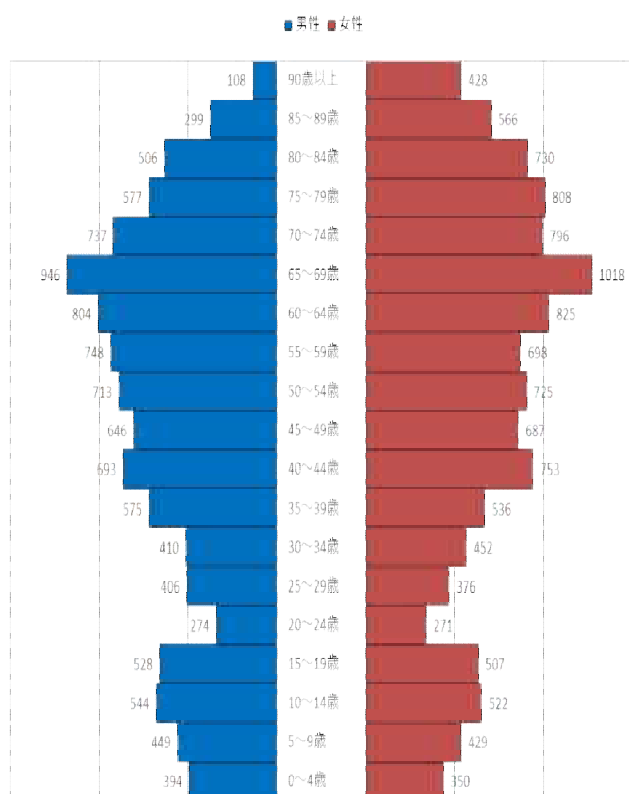
昭和 30（1955）年の人口を 100 とした場合、京都府においては平成 22（2010）年の人口指数は 136.3 をピークに平成 25（2015）年で減少に転じていますが、京都府北部のすべての自治体においては平成 22（2010）年ですでに減少となっています。

本町の平成 25（2015）年の人口指数は 78.3 で、平成 22（2010）年比 5.8 ポイントの減少となっており、近隣市町と比べてやや減少が加速しています。

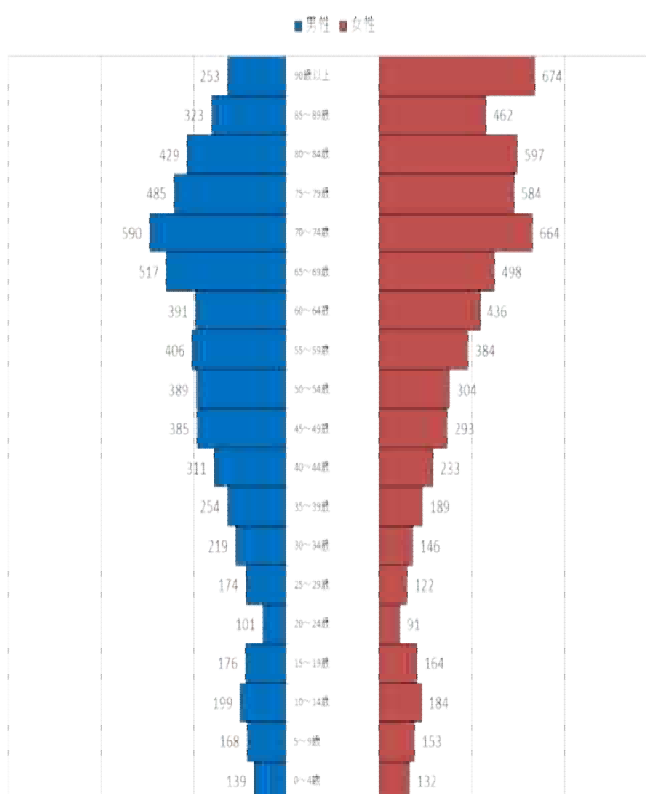
### ③ 男女年齢階層別人口の推移

男女年齢階層別人口は、昭和 60（1985）年の時点で既に 20 歳代が極端に少ない人口構造となっており、以降、20 歳代が極端に少ない人口構造はそのままに 30 歳代以上が年を重ねていくとともに、若年世代が徐々に減少した人口構造となっています。

平成 25（2015）年人口ピラミッド

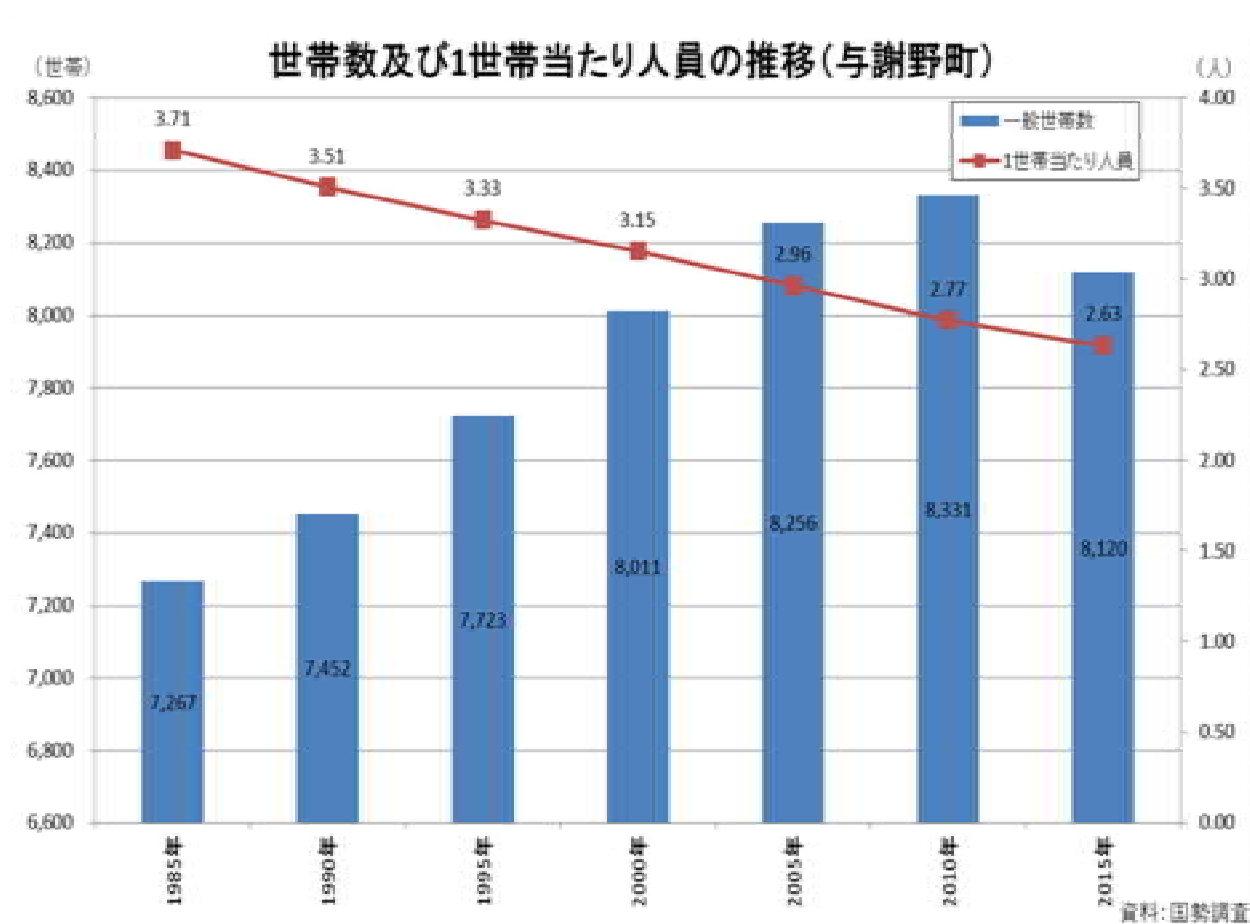
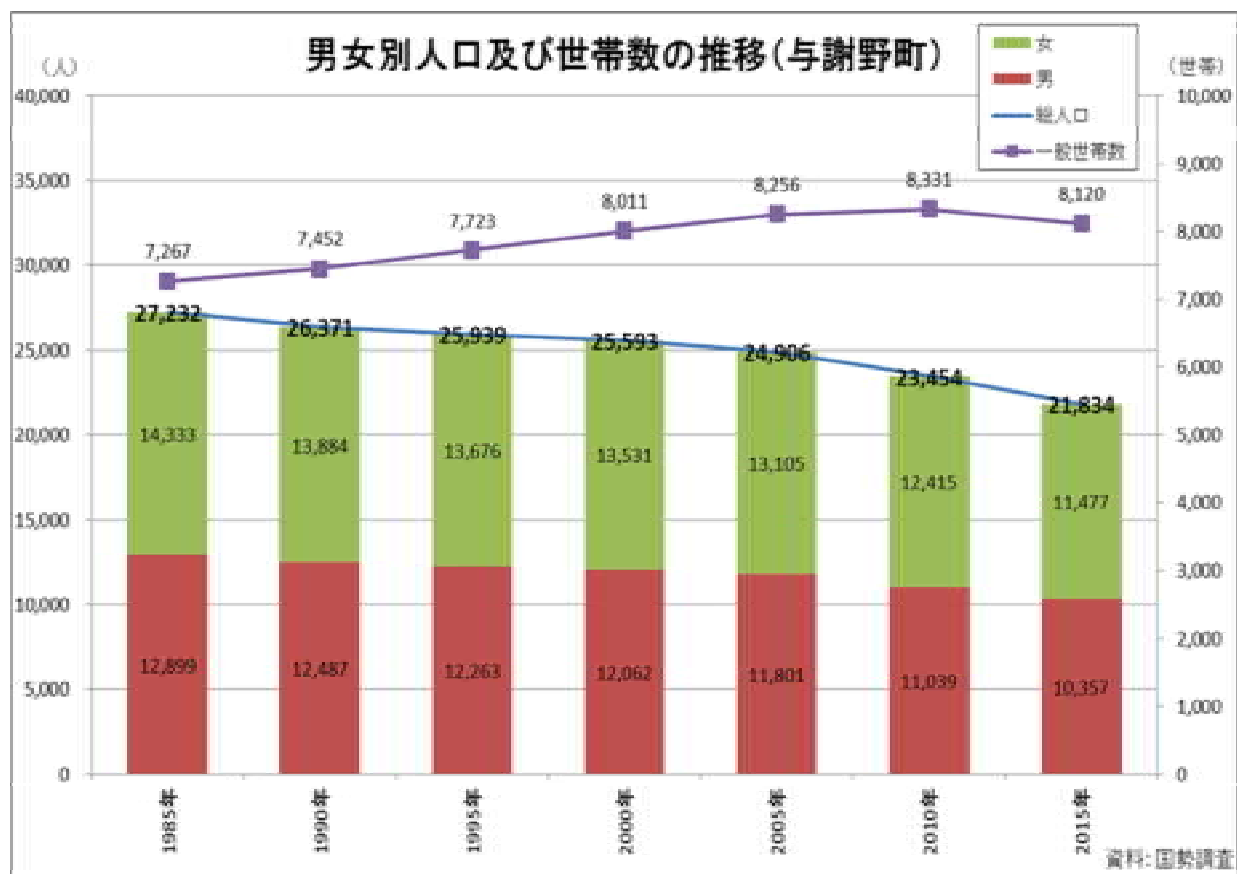


令和 27（2045）年人口ピラミッド（推計）



### ④ 世帯数の推移

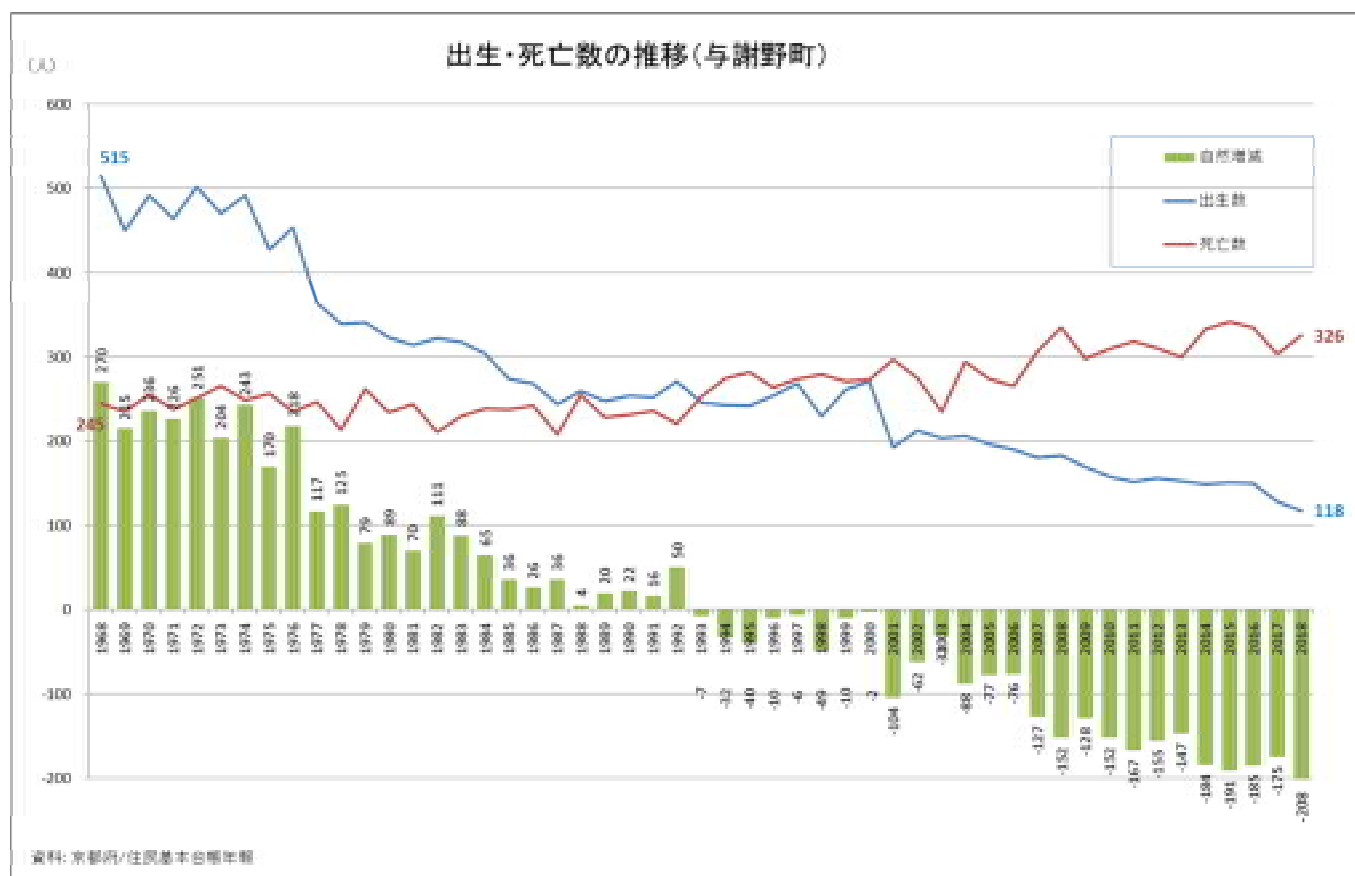
世帯数は、人口が減少しているにもかかわらず、平成 22（2010）年まで増加が続いていましたが、平成 25（2015）年では 8,120 世帯と減少しました。また、一世帯当たりの人員も 2.63 人と減少し続けています。



## ⑤ 出生・死亡数の推移

出生数は昭和 51（1976）年から昭和 62（1987）年にかけて減少を続け、その後一定水準を維持していました。平成 12（2000）年から減り続け、平成 28（2016）年までは 150 人程度を推移していましたが、平成 29（2017）年以降さらに減少してきています。

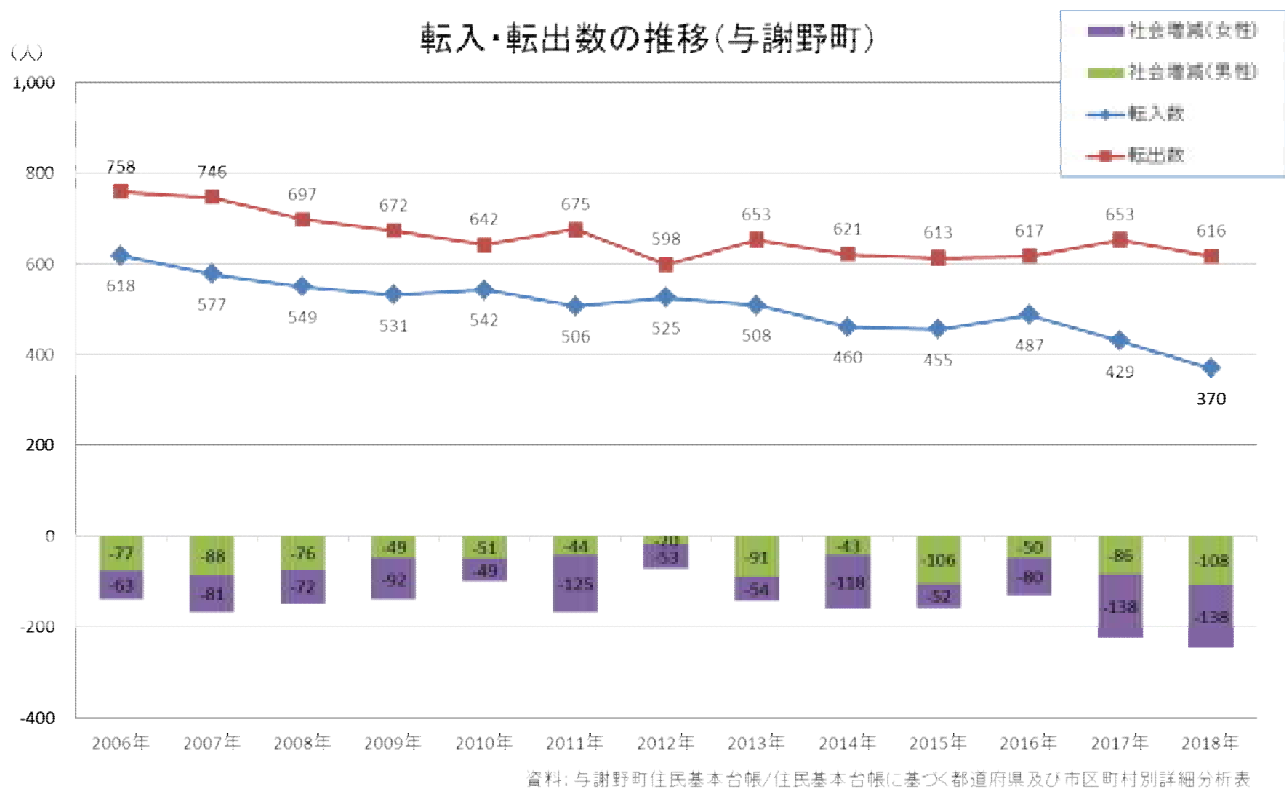
死亡数は、年によって変動があるものの一定水準で推移してきましたが、平成 5（1993）年以降は死亡数が出生数を上回る「自然減」の時代に入り、緩やかに増加傾向となっています。



## ⑥ 転入・転出数の推移

「社会増減」については、転入・転出とも緩やかな減少傾向となっており、一貫して転出超過（社会減）の傾向が続いています。平成 29（2017）年と平成 30（2018）年は、200 人超の社会減となりました。

人口増減数（出生－死亡＋転入－転出）はマイナスが続いており、近年は毎年度約 300 人の人口減少となっていました。平成 29 年、平成 30 年では年間およそ 400 人の人口減少となりました。

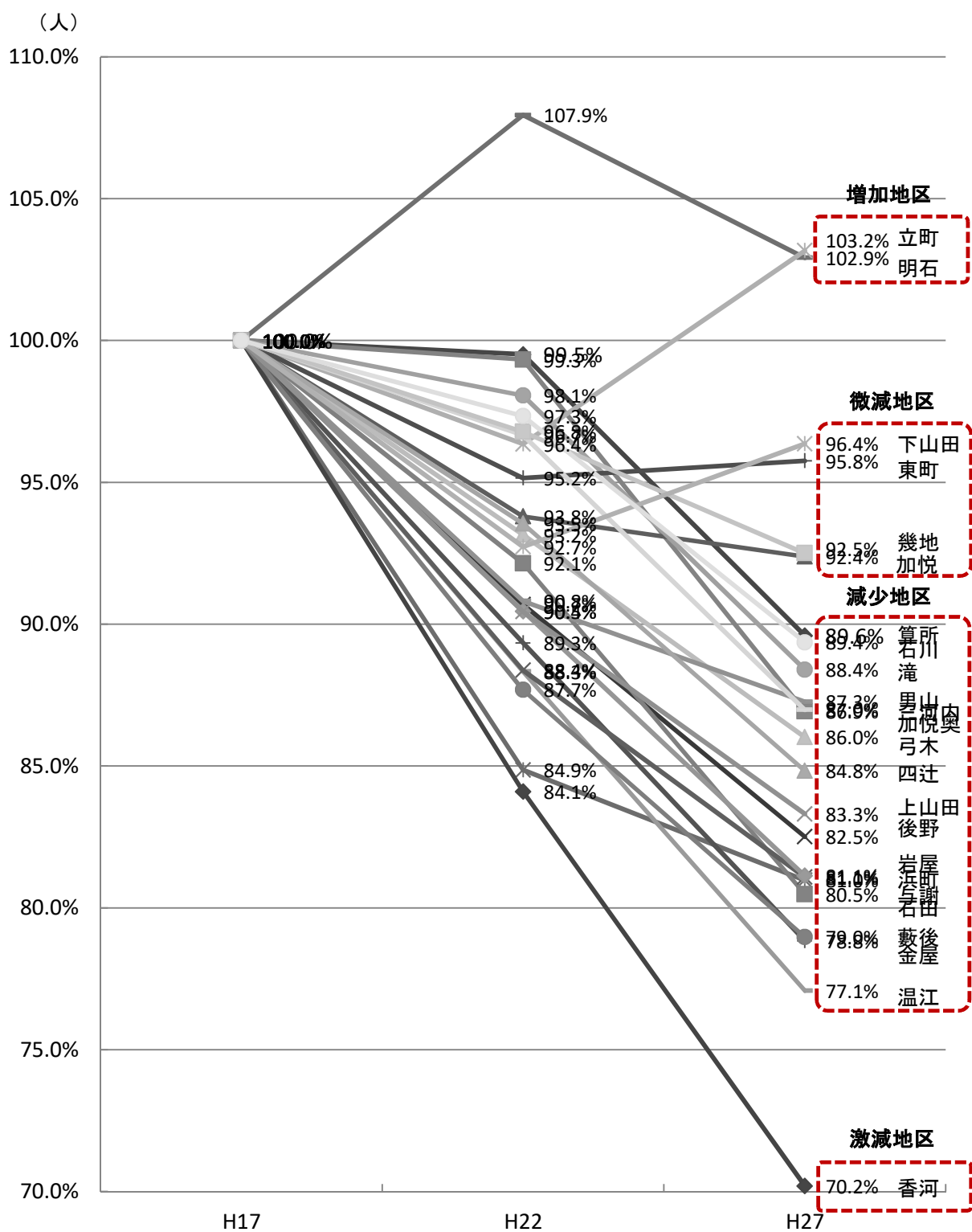


## ⑦ 地区別人口推移(対平成 17 年割合)

平成 17 年 10 月 1 日の各地区の人口を 100 とした場合、各年の増減状況(地区別人口増減率)は、香河地区が減少割合 30% 超であり、17 地区が減少割合 10%~22% にある状況です。なお、増加地区は 2 地区のみとなっています。



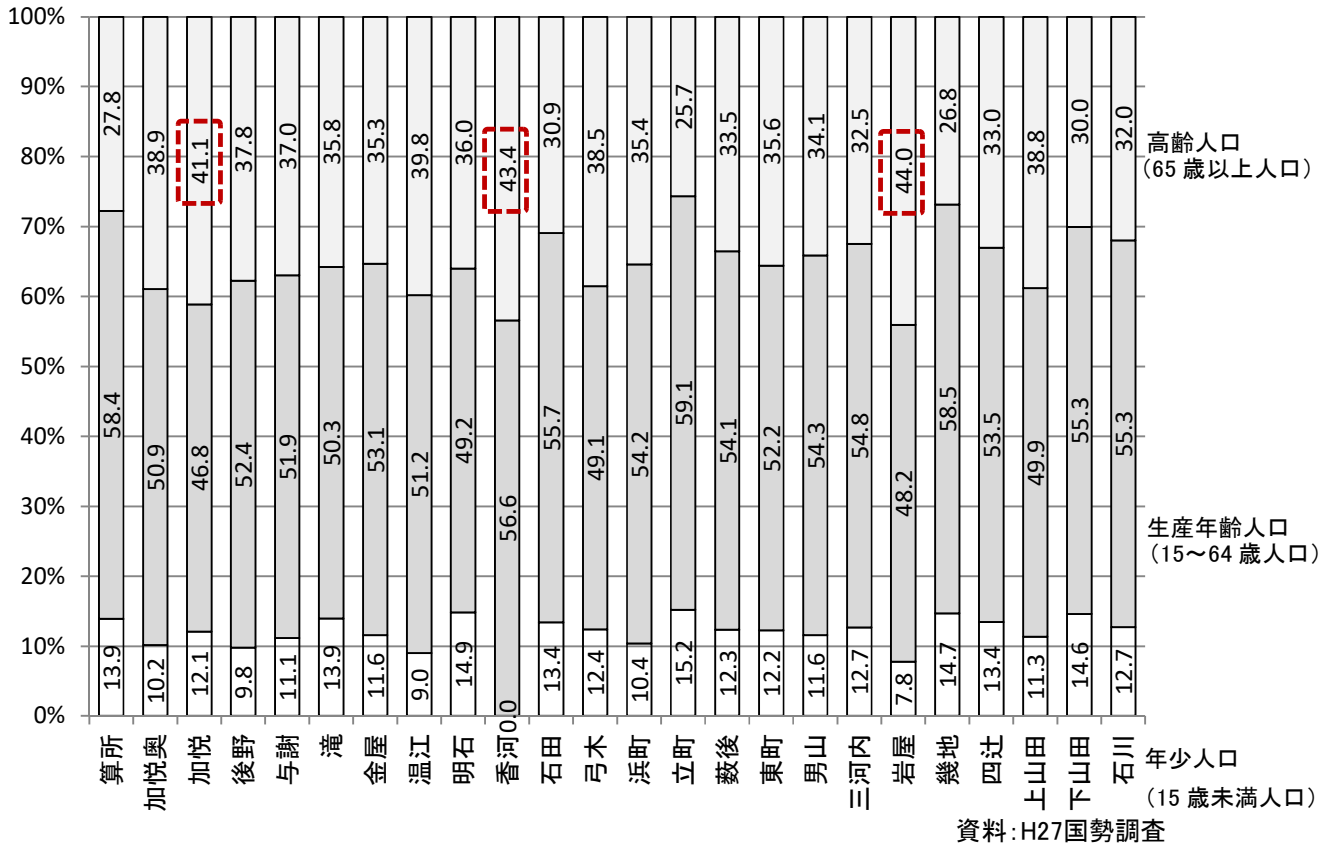
# 地区別人口推移（対平成 17 年割合）



資料: 国勢調査

平成 27 年 10 月 1 日現在、香河地区、岩屋地区、加悦地区の 4 割以上の住民が 65 歳以上となっています。また、香河地区においては 15 歳未満の住民がいない状況となっています。

地区別年齢 3 区分（年少・生産年齢・高齢）人口（平成 27 年）

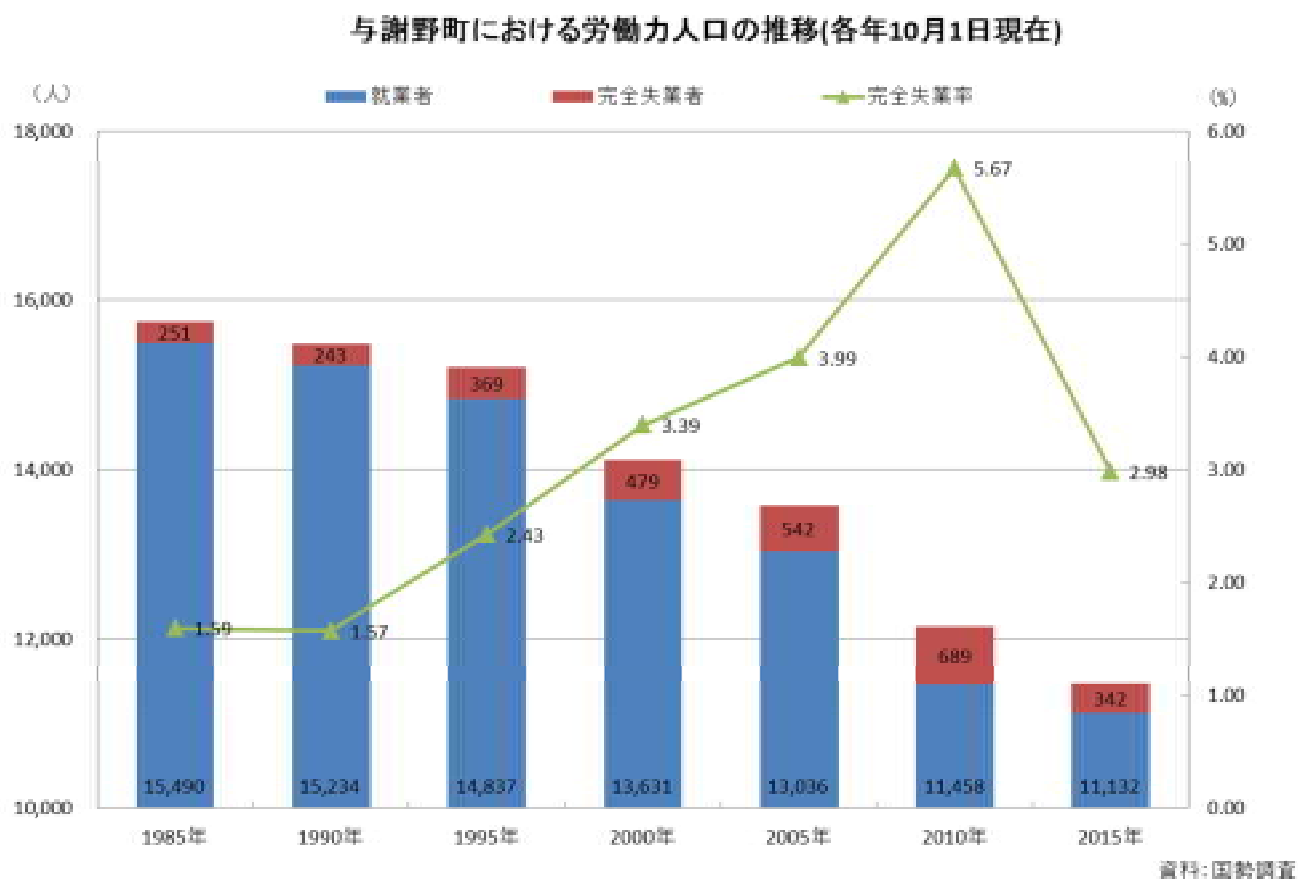


## (2) 産業・雇用に係る人口の動向

### ① 労働力の推移

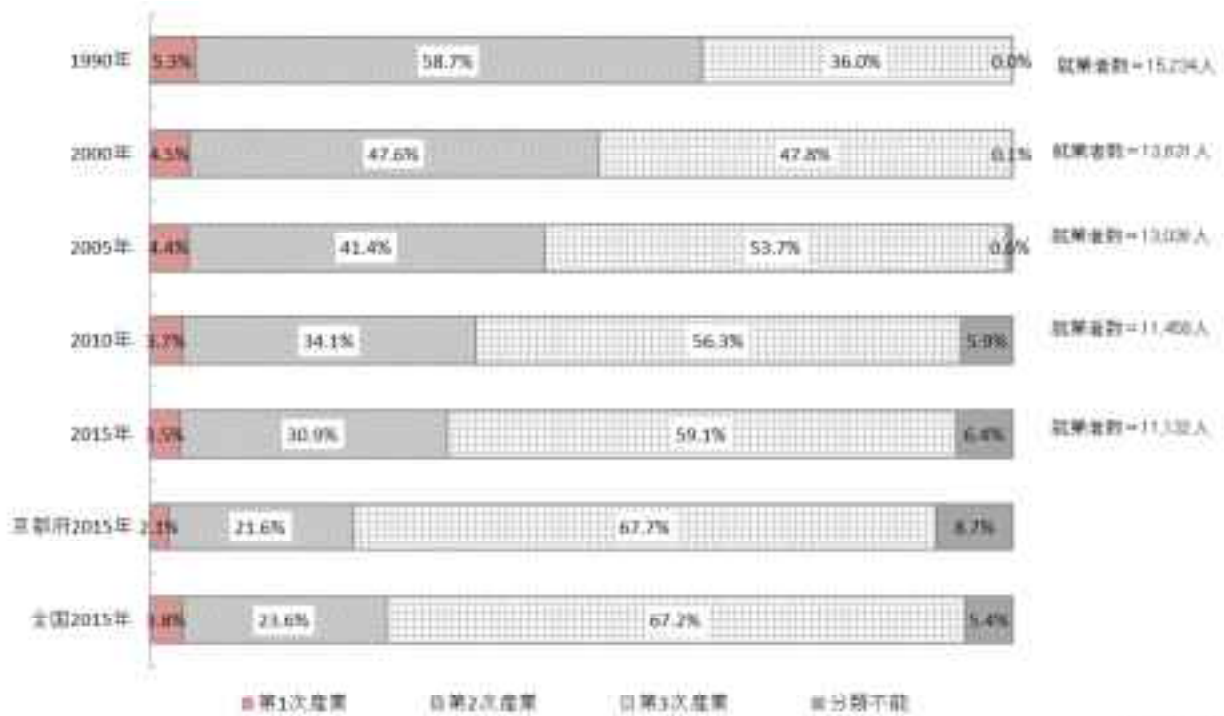
労働力人口（15歳以上で労働する能力と意欲をもつ方の数）は、昭和60（1985）年の15,741人から平成27（2015）年の11,474人と28.1%減少しています。また、平成22（2010）年までは、完全失業者数と完全失業率※はともに増加傾向にありましたが、平成27（2015）年からは減少しています。

※ 完全失業率（％）＝ 完全失業者 ÷ 労働力人口 × 100



第1次産業は平成27（2015）年に3.5%まで減少し、第2次産業についても減少傾向となっています。代わって第3次産業が増加傾向で、平成27年では59.1%となっています。

### 産業別就業者数割合の推移

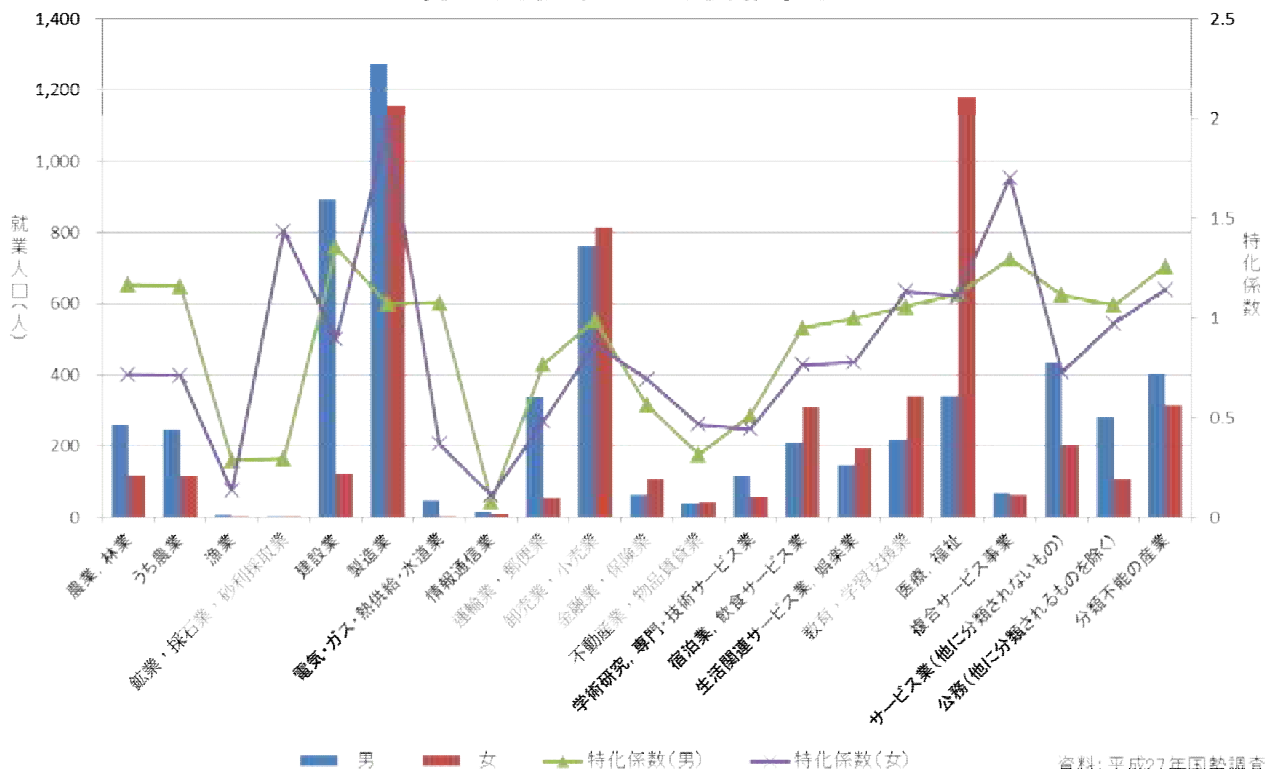


資料: 国勢調査

男性は、製造業、建設業、卸・小売業の順に就業者数が多く、女性は、医療・福祉、製造業、卸・小売業の順に就業者数が多くなっています。特化係数※をみると、男性は建設業、複合サービス事業、女性は製造業、複合サービス事業が高くなっています。

※ X産業の特化係数 = 与謝野町のX産業の就業者比率 / 全国のX産業の就業者比率

### 男女別就業人口(与謝野町)

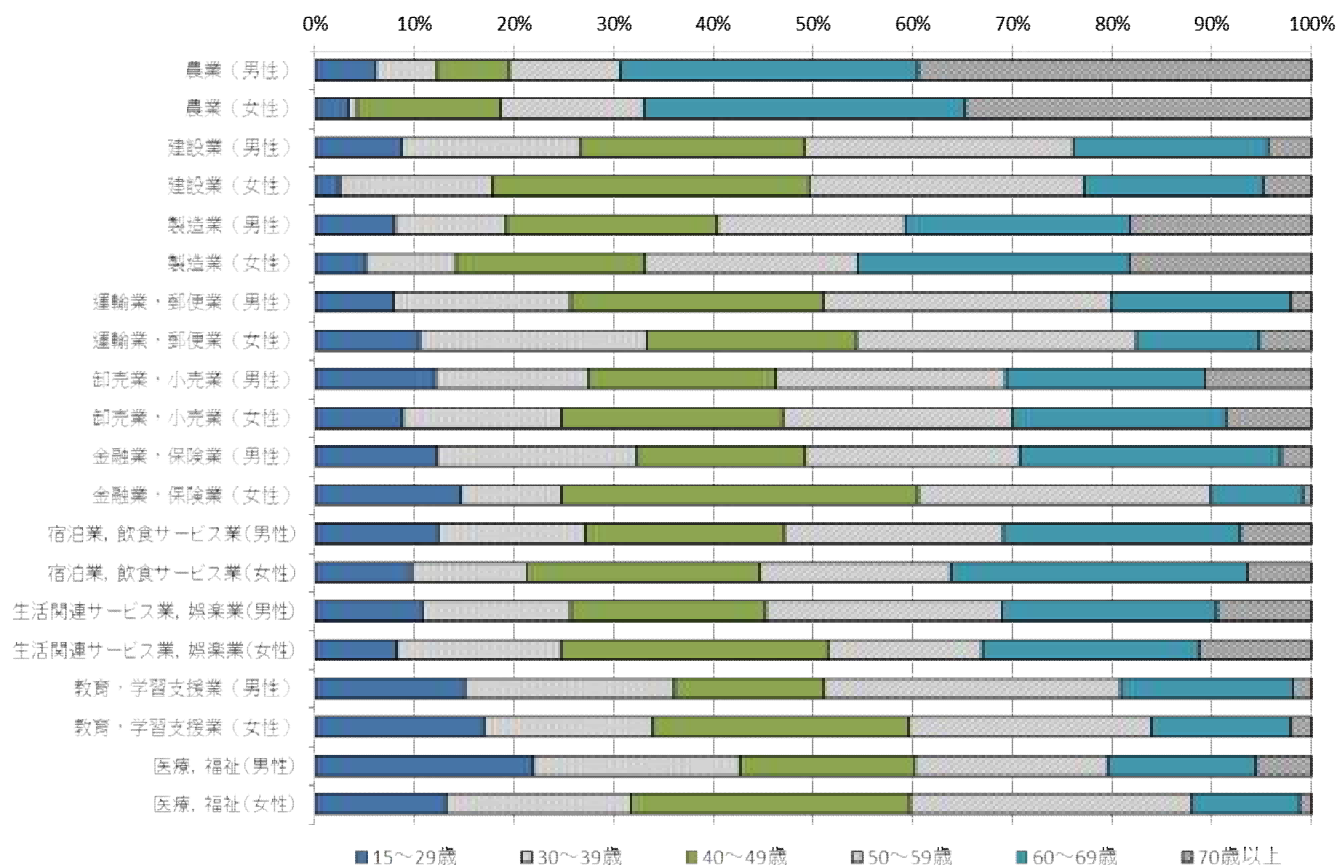


資料: 平成27年国勢調査

農業就業者における 50 歳以上が男女とも 8 割近くを占め、高齢化が進んでいます。

製造業就業者における 60 歳以上が男女とも 4 割近くを占めており、地場産業の織物業が関係していることがうかがえます。

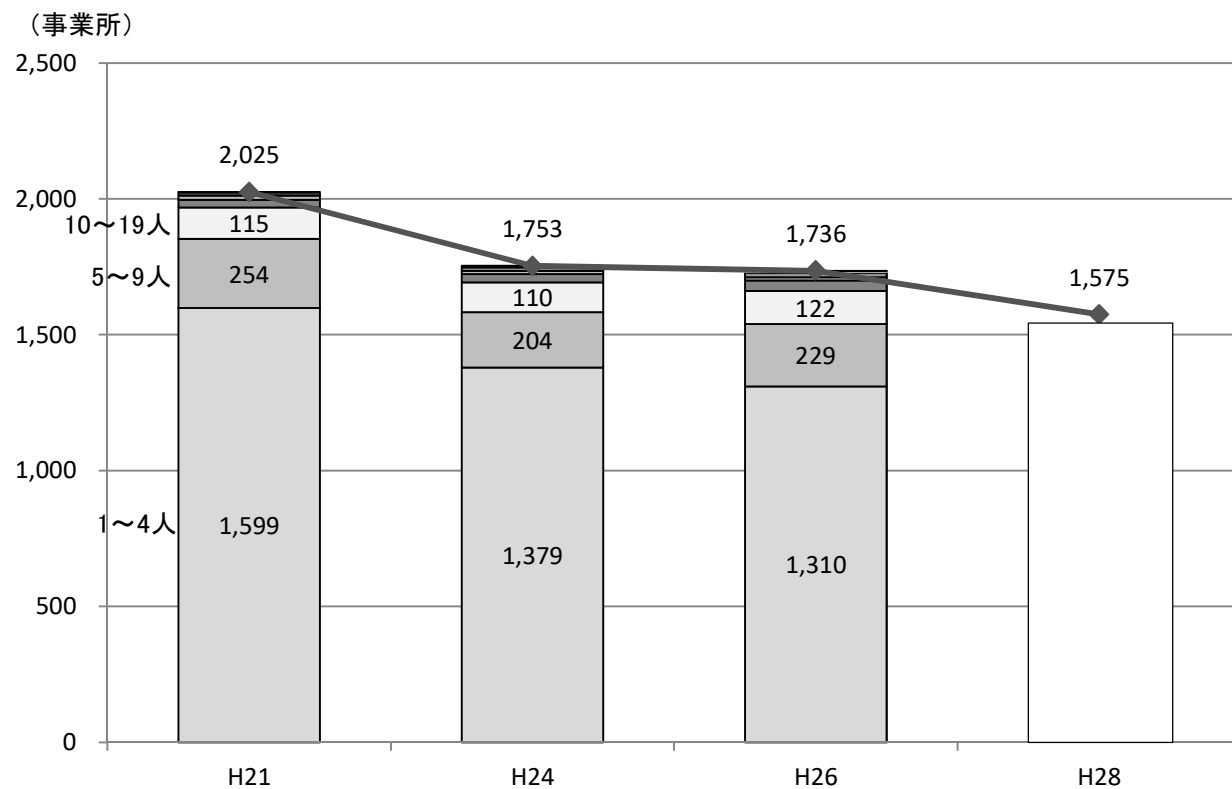
### 年齢階級別就業人口(与謝野町)



資料: 平成27年国勢調査

事業所数が減少しており、平成 26 年においては事業所における従業者数が 1～4 人、5～9 人の小規模事業所が約 9 割を占めています。

### 従業者規模別事業所数の推移



※平成28年は総計のみ

資料:経済センサス